

卒業証書授与式





2026 April
No.811

目次 CONTENTS

3 君の夢プロジェクト

卓球部編

4 ビップスター pipstar

勝見友音さん/勝見萌衣さん/中野紗和さん/上田星さん/佐藤日咲さん/青木理音さん

6 特集「今年のまちづくり」

令和8年度町政・教育行政執行方針/令和8年度予算概要

16 今月のまちからのお知らせ

犬を飼われる方は/「花たびそや号」を一緒におもてなしませんか/比布町地球温暖化実行計画を作成しました/国民健康保険の手続きをお忘れなく/子育て世帯の移住・定住をサポートします/比布町住宅リフォーム支援事業/空き家の今後を考えてみませんか

20 情報満載

求人募集/ねんきんワンポイント ほか

23 子育て・教育

ぶっくんノート/エ・ミ・ナ/アンソニー先生のぴっぴ暮らし/すまいるキッズ/こどものひろば ほか

28 健康・福祉

地域包括支援センターは高齢者の相談窓口です/きたよん通信/ホケセンだより ほか

31 教育長の退任・就任

32 行政報告

第1回町議会定例会

34 みんながヒーロー&ヒロイン

35 まちある・記・フォトニュース

わが家のアイドル

たつき 那須 健樹くん

健太郎さん・のぞみさんの長男
(4歳0か月・新町)

恐竜とラーメン、楽しいことが大好き! おふざけボーイです! チャームポイントのえくぼがたくさん見られますように☆



皆様のご家庭のアイドルを広報ぴっぴで紹介しませんか?
最近の写真とコメントを添えて、総務企画課 まち発信係にお寄せください!
☑koho@town.pippu.hokkaido.jp または プリントした写真でもOK!

君の夢プロジェクト

— 比布中央学校卓球部 編 —

スポーツや文化活動に打ち込む
子どもたちの
夢をかなえるプロジェクト

JR北海道卓球部

小松 隼大 さん

大学時代は2021年度関東学生選手権ダブルスで優勝するなど数々の好成績を収める。社会人以降は、日本リーグ個人タイトルとして2025年度前期2部ファインプレー賞を受賞。平成14年生まれ・江別市出身。



JR北海道卓球部

高山 結女子 さん

JR北海道卓球部女子チームの主将を務める。全日本選手権北海道予選において、シングルスやダブルスで本戦出場権を獲得するなど、安定した結果を残している。平成12年生まれ・苫小牧市出身。



- 1 選手による迫力あるプレーを真剣な表情で見る部員たち
- 2 下半身の使い方を意識するようアドバイス
- 3 バックハンドで打つ際の手首の使い方についてアドバイス
- 4 5点先取のゲーム形式で本気でぶつかる部員たち
- 5 グループに分かれ熱心に質問をする部員たち



2月14日、比布中央学校武道場で「君の夢プロジェクト卓球部編」が行われ、卓球部員6人が参加しました。講師として、JR北海道卓球部の小松隼大選手と高山結女子選手をお招きし、トップ選手から直接指導を受ける貴重な機会となりました。

はじめに、選手による練習や迫力ある乱打を見学。スピードと正確さを兼ね備えたプレーに、部員たちは真剣な表情で見入っていました。その後はグループに分かれてラリー練習を行い、ラケットの振り方や姿勢、体の使い方などを一つひとつ丁寧に教わりました。

高山選手は「卓球は下半身の使い方が一番大事。上半身ばかりに意識がいきがちだが、足を使うことを意識してほしい」とアドバイスを。小松選手からは「腰の動きを入れて打つことが大切」と、体全体を使った打ち方について指導がありました。

その後は5点先取のゲーム形式で実践練習を実施。選手から「基礎はできてい

市外局番 (0166)

比布中央学校6年生の中野紗和さん、5年生の青木理音さん・上田星さん・佐藤日咲さんが、3月29日から茨城県で開かれる「第66回全国選抜少年剣道大会」に出場します。

この大会は、全国の小学生剣士が日ごろの鍛錬の成果を競う大会です。比布町剣道スポーツ少年団からは、町外に住む団員を含む6人が、今年度の各種大会で好成績を収め、旭川剣道連盟の選抜4チーム・20人の一員に選ばれました。

大会に向け、昨年12月から週1回の合同稽古会に参加し、他道場の選手とともに稽古を重ねています。

中野さんは2年連続の出場。6年生として下級生を引く張る存在です。合同稽古では、普段とは違う道場の選手との稽古を通して刺激を受け、「以前より自信が持てるようになった」と手応えを感じています。指導者からも「出す声が変わ

り、気迫が強くなった」と評価されており、「昨年の成績を上回れるよう、チーム一丸で頑張りたい」と意気込みます。

上田さんは小学1年生の時、友達の影響で剣道を始めました。負けん気が強く、上級生や先生にも果敢に挑む姿勢が評価されています。「緊張する」と話しますが、「声を出して積極的に打っていきたい」と前向きに語ります。

佐藤さんも小学1年生から剣道を続けています。「運動能力を伸ばしたい」と思ったことがきっかけで入団。真面目に稽古に励む姿が周囲の信頼を集めています。合同稽古では「比布での稽古より少し緊張するけど、気を抜かないよう心がけている」と話し、「先鋒・次鋒の勢いをつないで、チームに流れを持ってきたい」と目標を語ります。

青木さんも小学1年生か



おめでとう

全国中学生選抜ソフトテニス大会出場

#055 Yunon Katsumi

勝見 友音 さん (右)

比布中央学校8年生

#056 Mei Katsumi

勝見 萌衣 さん (左)

比布中央学校8年生



比布中央学校8年生の勝見友音さんと勝見萌衣さんが、3月29日から岐阜県で開かれる「第23回ヨネックスカップ全国中学校選抜ソフトテニス大会」に出場します。

この大会は、全国から選抜された中学生が集い、日本一を目指して競うソフトテニスの全国大会です。友音さん・萌衣さんペアは、昨年12月に行われた道予選会で好成績を収め、北海道ソフトテニス連盟の選手団の一員に選ばれました。

親戚で幼なじみの二人は、小学1年生からソフトテニスを始めました。友音さんは、アルペンスキーに取り組んでいましたが、「冬以外にもできるスポーツを」と考え、兄が所属していた比布町ソフトテニス少年団に入団。その友音さんに誘われ、萌衣さんも入団しました。

ダブルスのペアとして大会に出場するようになったのは2年生から。数々の大会で経験を重ね、切磋琢磨しながら実力を磨いてきました。

現在は友音さんが前衛、萌衣さんが後衛を務めています。6年生まではポジションが逆でしたが、7年生の時にそれぞれ別のペアと別のポジションを経験した後、再びペアを組み、現在のプレースタイルに至ります。

お互いのプレーについて、「萌衣はパワーのある球が持ち味。深いボールで相手を崩してくれるところが心強い」「友音はボールへの反応が早く、私では届かないような球も積極的に取ってくれる」と信頼を寄せ合います。前衛・後衛の両方を経験しているからこ

そ、お互いのプレーを理解し合えることが二人の強みです。

全国大会出場は今回で3回目。前回出場した大会では「雰囲気にもまれ、やりたいプレーができなかった」と友音さん。萌衣さんも「全国のレベルの高さに圧倒された」と振り返ります。しかし、今回は「強い選手と戦う中で技術を吸収し、悔いのない試合をしたい」と声を揃えて意気込みを語りました。

4月からはよいよ最高学年。部を牽引する立場になります。「中体連で良い成績を残し、後輩たちになげられるよう頑張りたい」と友音さん。「最後は笑顔で終われるよう、部員みんなで協力して頑張りたい」と萌衣さんも力強く語ってくれました。

ら入団。全国大会は初めて「緊張している」と話しますが、「疲れても態度に出さないよう心がけている」と稽古への姿勢を語ります。勝負強さは学年が上がるにつれて磨かれ、「副将として大将に勢いをつけたい」と力強く話しました。

比布剣道連盟指導部長の寒河江卓さんは「団員たちは各種大会で好成績を上げており、特に高学年団員は主力として活躍している。自分の持っている技術を全国の舞台で存分に発揮してほしい」と期待します。

約2千人が集まる全国大会は、一年間の集大成ともいえる大舞台。4人はそれぞれの役割を胸に、全国の舞台に挑みます。

おめでとう

全国選抜少年剣道大会出場

#045 Sawa Nakano

中野 紗和 さん (左)

比布中央学校6年生

広報びっぶ 2025年3月号で紹介

#057 Sei Ueda

上田 星 さん (中央左)

比布中央学校5年生

#058 Hiyori Sato

佐藤 日咲 さん (中央右)

比布中央学校5年生

#059 Rio Aoki

青木 理音 さん (右)

比布中央学校5年生





第4回びっぶ町フォトコンテスト最優秀作品

第13次まちづくり計画3年目

特集 今年のまちづくり

3月9日に招集された第1回町議会定例会で、村中町長と北川教育長から令和8年度に向けた方針が示されました。その概要をお知らせします。



はじめに

食料品や生活用品などの物価高騰が続き、多くの町民の皆さんの生活に影響が及んでいます。町では、国の臨時交付金を活用し、昨年5月に町民一人当たり5千円分、7月に子ども一人当たり1万円分、本年2月に町民一人当たり1万5千円分の商品券の配付や、非課税世帯等への給付などを行いました。家庭の負担軽減とともに、町内経済の循環にもご協力をお願いいたします。

複合庁舎建設については、本町の将来を見据えた重要な事業として、町民検討委員会など多くの皆さんのご意見や提言をいただきながら検討を重ねてきました。令和7年度中に基本設計は終了しますが、重要な財源として見込んでいる国の補助金や交付金の制度内容が不透明な状況であることから、当初予算への計上は見送りしました。今後、国の予算が確定し、補助制度の詳細が明らかになり次第

に関わる重要な産業です。しかし、高齢化による離農や担い手不足、気候変動や資材価格高騰などにより、経営環境は大きく変化しています。今後は、スマート農業技術の活用や土地改良事業、農地の集積・集約化など、地域関係者と一体となった産地形成の検討が必要と見られます。関係機関と連携し、農業者へ情報発信しながら、地域農業再生協議会を中心に今後の農業の方向性について議論します。

第、事業費や財政への影響を整理し、町民の皆さんにお示しした上で建設時期を判断してまいります。

人口減少対策も大きな課題です。令和4年から3年連続で転入が転出を上回る転入超過となりましたが、昨年は47人の転出超過となりました。移住相談は一定数あるものの、空き地・空き家が減少していることや民間集合住宅がほぼ満室であることなど、受け皿不足が続いている状況です。

このため本年、旧新町団地跡地に分譲地8区画と民間集合住宅8戸を整備予定です。また、宅建協会と連携した相談会や空き地・空き家情報の収集を行い、移住希望者の期待にこたえる環境整備を進めます。

社会情勢の変化が激しい中、多くの課題がありますが、これまで本町に関わっていただいた皆さんの思いをつなぎながら「住んで良かったと思えるまち」を目指し町政を進めてまいります。皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

町政執行方針

【育】(子育て) 子どもたちの成長を支えるまちづくり

人口減少が続く本町にとって、少子化対策は重要な課題です。子育て世代が安心して子どもを産み育てられるよう、支援体制や環境づくりが必要です。

妊産婦への支援として、産後ケア事業や妊婦サポート119、産前産後家事育児サポート事業などを実施するとともに、本年度から新たに5歳児健診を行い、健やかな成長発達や生活リズムの確立を保護者とともに支える体制を整えます。

子育て支援では、子育て支援センターを中心に、SNSを活用した相談体制の充実や、保育園入園前の親子の交流の場「こどものひろば」を引き続き開設します。また、保育園や児童発達支援事業所、学校などと連携し、子どもたちの成長に必要な支援の機会を確保します。

保育事業では、低年齢化・多様化する保育ニーズに対



こどものひろば

応し、円滑な入所と健やかな保育環境の提供に努めます。また、本年4月から0〜2歳児を対象とした「乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)」の実施にあたり、認可事業所の円滑な運営を支援します。また、地元農産物や天然だしを使用したミネラル豊富な給食提供を支援します。

中央ふれあい広場は再整備が完了し、昨年7月12日のオープン以来、多くのご家族に利用をいただきました。町内一の遊具を備える公園として、子どもの居場所づくりや体力づくり、町民の憩いの場として適切な維持管理に努めます。

教育では、子どもたち一人ひとりの力を最大限引き出す教育を進めるため、総合教育会議をはじめ教育委員会と連携し、本町の教育行政を推進します。

なお、4月から国の施策による公立小学校給食費の原則無償化に合わせ、国の交付金を活用し、後期課程の給食費を支援します。教育の大きな柱である学校教育と社会教育の連携を深め、町民の皆さんが自己肯定感を持って生涯にわたる学び続けられる環境づくりを進めます。

図書館は、休館日や開館時間の試験的運用をいたしました。地域の交流の場としての役割を踏まえ、休館日を月曜日と祝日とし、土・日曜日は午後5時閉館とさせていただきます。

教育行政執行方針は11ページ以降をご覧ください。

【職】(しごと) 働く人を応援するまちづくり

農業は人々の「食」を支え、地域の生活や経済に密

接に関わる重要な産業です。しかし、高齢化による離農や担い手不足、気候変動や資材価格高騰などにより、経営環境は大きく変化しています。今後は、スマート農業技術の活用や土地改良事業、農地の集積・集約化など、地域関係者と一体となった産地形成の検討が必要と見られます。関係機関と連携し、農業者へ情報発信しながら、地域農業再生協議会を中心に今後の農業の方向性について議論します。

本町の基幹作物である水稲は、昨年の上川管内の作況単収指数が「96」となり、平年を下回りました。米価が高騰する一方、生産資材価格の上昇が経営に大きく影響しているため、農協などと連携し、スマート農業技術の導入や環境に配慮した営農活動を支援します。

青果物等は、天候不順や高温の影響により、出荷量・販売額ともに前年を下回りました。安全・安心な生産を持続させる取り組みは重要であることから、引き続きハウス設置や品質向上な

ど、農協とともに生産者の取り組みを支援します。びっぶいちごの振興については、出荷量やいちご狩り農園の減少が課題となっています。100年以上続く本町の「いちご」を守り、発展させるため、町が出資する法人を設立し、生産量の増加やいちご狩りの受入れなどについて、関係機関と検討を進めます。



冬いちご

畜産では、生産資材の高騰や鳥インフルエンザなどの防疫体制の強化が求められていることから、畜産振興会と意見交換しながら対策を検討します。

日本型直接支払制度や多面的機能支払交付金については、営農継続に向けた生産条件の改善や農地・水路・農道の維持、「田んぼダム」の取り組みを支援し、農業・農村の有する多面的機能を発揮できるよう保全組織と

協力します。

土地改良事業は、農業経営規模が拡大する中で、生産性向上や作業効率化を図るために重要な事業です。「拓進地区」の完了に向け、引き続き農家負担の軽減を図るほか、「比布旭北地区」は令和9年度からの施工に向け、北海道など関係機関とともに事業を進めます。林業では、町有林の整備を進めるとともに、森林組合と連携し、森林環境譲与税を活用して民有林の整備を支援します。

有害鳥獣対策では、キツネやエゾシカ、アライグマによる農作物被害防止に努めます。熊の監視体制を強化し、迅速な情報提供と注意喚起を行うほか、緊急銃猟に対応できるよう猟友会や警察などと連携します。

商工業については、円安や物価高騰、人材不足など厳しい状況であることから、本年2月から国の臨時交付金を活用した商品券給付事業を実施しており、町民負担の軽減と町内経済の活性化を図ります。また、

商工会への運営支援を継続するとともに、事業者の新規創業や成長発展につながる取り組みを支援します。

「びっぶ夏まつり」は、関係団体と連携し、内容の充実とにぎわいの創出を図ります。

観光業については、いちご狩り農園の減少などにより、町内の滞在時間や消費額の減少が懸念されます。観光協会と連携し、インバウンド誘客や町内周遊の仕組みづくりを進めます。

良佳プラザ・遊湯びっぶは、指定管理者と連携し、集客促進とサービス満足度の向上に努めます。一方で、物価高騰による維持管理費の増大や施設全体の老朽化対策は大きな課題であることから、今後の施設の方向性について多角的な視点から検討を進めます。

グリーンパークびっぶはパークゴルフ愛好者の減少や熊の出没など厳しい状況が続いていますが、利用者の安全と魅力ある施設づくりに努めるとともに、利用者や関係団体の意見を伺い

ながら施設のあり方について協議を進めます。

びっぶスキー場は本町の重要な観光施設であることから、今後は札幌圏や道外からの誘客、大雪カムイミントンラDMOと連携したインバウンドの取り込みに努めます。また、索道施設の安全運行に必要な整備を行うとともに、将来を見据えた施設全体の再整備計画について検討します。

良佳村は、多くの雇用と地域経済への波及効果を生み出す本町の重要な観光拠点です。今後は民間活力の導入も視野に入れ、施設のあり方や運営方法などを検討します。



【住】(住まい) 快適に住み続けることができるまちづくり

町営住宅については、比布町公営住宅等長寿命化計画に基づき、ほしの団地B棟の換気・空調設備修繕工事と、ふれあい団地G棟の改修工事を行います。

また、公平性確保の観点から、高額所得者および収入超過者には特定公共賃貸住宅や民間賃貸住宅への入居を促し、公営住宅が住宅確保要配慮者のセーフティネットとして活用されるよう推進します。

空き地・空き家対策については、比布町空き家等対策計画に基づき取り組みを進めます。「特定空き家」は、関係者と協議を進めながら適切な管理を促すとともに、旭川司法書士会や宅建協会旭川支部、当麻町と連携した空き家無料相談会を継続し、空き家の解消と適切な管理を進めます。

空き地や空き家は、人口減少対策や新規起業者を増やすための重要な資産です

ので、関係課と連携しながら需要を把握し、所有者と希望者をつなぎ、町の補助制度の活用を促すなど、流動化を図ります。

フレバス進出によって道央圏への人口集中が加速し、本町が位置する大雪圏域の人口動態は厳しくなると予想されます。大雪圏域は大規模災害が少なく、買い物や医療、高等教育機関などの都市機能を持つ旭川市を中心に、車で1時間圏内に多様な魅力を持つ町があります。本町の資源を生かした持続可能な移住・定住対策を進めるには、圏域全体の環境も大切な資源として捉える必要があります。

昨年10月から新たに委嘱した移住定住分野の地域活性化起業者の協力も得ながら、大雪圏域での連携を強化し、幅広い視点で移住・定住施策を進めます。

本町のような小規模自治体が転入超過を達成することとは困難ですが、転入者を温かく迎え入れる町民の皆さんの土壌があります。引き続きご理解と協力をいた

だきながら、再び転入超過の流れを取り戻せるよう取り組んでまいります。

【安】(安心・安全) 安心して暮らすことができるまちづくり

高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、支え合いを大切にする地域共生のまちづくりを目指します。

本町の高齢化率は43%を超えており、除雪や配食サービスなど、高齢者への生活支援を継続します。特に、高齢者等移動支援事業「びびたく」は、運行区域を当麻町の一部商業施設まで拡大し、びっぶクリニックへの送迎にも対応しました。今後とも利用しやすい事業となるよう努めます。

緊急通報システムは、通信環境に対応した見守り機能付きのシステムに変更を進めており、必要な方への設置を継続します。

障がい福祉については、近隣4町で構成する上川中部福祉事務組合と連携

し、上川中部こども通園センターや基幹相談支援センター「きたよん」を中心に適切なサービス提供を図ります。町内でも関係機関と連携し、障がいの有無に関わらず誰もが安心して暮らせる地域づくりを進め、理解啓発・権利擁護に努めます。

介護保険では、重度の要介護等認定者の増加傾向を踏まえつつ、通いの場「三平サロン」や生活助け合い協議会「びっぶの和」などの活動評価や体制見直しを行い、保険料抑制に努めます。

一般介護予防事業では、各種体操事業の参加者が増加しています。引き続き、ピピリハけんこう体操事業や木曜体操事業、レッツリハ体操を実施します。地域の介護予防では、ふまねっと運動やリハビリ体操を担うサポーターや指導士がスキルアップや交流できるよう、活動支援に努めます。

認知症施策では、地域で見守りができる地域づくりを目指すとともに、相談の場であるオレンジカフェの体制強化に努めます。また、

比布町版エンディングノート「思いノート」の活用を周知し、将来に不安を抱える方を支援する体制づくりを努めます。

成人保健事業では、健康診査やがん検診の受診を促し、生活習慣病の予防と早期発見・早期治療を支援します。また、ピピカツ事業による生活習慣病予防(フィットネス)事業を充実させ、運動と食の両面から個別支援を行います。

児童生徒の健康診査も継続し、親子で生活習慣病を見直す機会につなげ、将来の生活習慣病予防や医療費抑制に努めます。

町立びっぶクリニックは、指定管理者の社会医療法人元生会とともに、地域医療の拠点として医療を展開します。特定健診に加え、後期高齢者健診やがん検診の一部を実施できるよう進めます。旧透析棟の「運動指導室」も介護予防や健康づくりの場として活用し、医療・保健・介護のさらなる連携強化を図ります。



北海道や関係機関と連携し適正な事務に努めます。保険料水準は令和12年度の統一が目標とされていることから、円滑な移行に向け、国保運営協議会で協議のうえ保険料を決定します。マイン保険証や資格確認書については、丁寧な周知に努めます。今後とも保健師による訪問活動や健康啓発、健診受診の促進を通じて、医療費抑制に努めます。

環境衛生では、不法投棄防止やごみステーション利用マナーの周知に取り組みます。小型家電回収も、リサイクル業者と連携し廃棄物の縮減につなげます。

町道整備については、西町の北2丁目道路改良工事や新町団地1条道路ほか改良工事を進め、安全な町道の維持管理に努めます。除排雪は関係機関と連携し、迅速で円滑な体制の確立、

安全で良好な冬期交通の確保に努めます。

橋梁点検や治水対策も適切に実施し、被害の未然防止と環境整備に努めます。

簡易水道事業は、旧新町団地造成に伴い、給水管の布設工事や浄水場計装盤の一部更新を行うほか、蘭留北10線橋の完成に伴い、仮設道路に布設されている水道管撤去工事を行います。

公共下水道事業は、旧新町団地造成に伴う下水道本管の布設工事や管渠内の力メツ調査を行い、管路の健全化・長寿命化を図ります。地域公共交通については、交通事業者の経営状況が厳しく、路線や駅を維持するためには町の負担が必要状況が続いています。

JRについては蘭留駅の維持費用に加え、老朽化が進む駅舎の改修費用の負担が生じています。今後はホーム設備の改修費用も負担を求められることが予想されます。毎年、JRから廃駅の打診がありますが、今すぐ同意する考えはありません。一方で、今後とも

大きな費用負担が続く場合は、その経費を地域の皆さんが利用しやすい移動手段に活用する方法も検討する必要がありますと考えます。

道北バスへの支援は、便数や路線の見直しなど利便増進対策を図った上で、国の特例措置を活用し自治体負担の軽減に取り組んでいます。昨年度の支援額は前年度から半減し、運行効率は向上していますが、人件費などの経常費用が上昇しているため大幅な負担軽減の見通しは立っていません。本年度は、特例措置期間後のあり方について沿線自治体と協議し、本町に必要な広域バスの役割を精査



します。防災では、昨年10月29日の停電を踏まえ、冬期の自然災害への備えの重要性を再認識しました。今後も関係機関と連携し、町民の防災意識の向上、災害時の対策体制の強化に努めます。昨年度更新した避難行動要支援者名簿を基に、緊急時の連絡体制を強化します。また、建設計画中の複合庁舎では、防災拠点として災害時も行政機能を維持できる強い庁舎を目指します。交通安全対策では、町内の「交通事故ゼロ」継続に向け、警察や交通安全指導員と連携し啓発活動を行います。中央ふれあい広場周辺に新たに「キッズゾーン」を設定し、通行車両への注意喚起を行います。防犯対策では、子どもたちはもちろん、高齢者への悪質な特殊詐欺への注意喚起や情報提供を行い、被害の未然防止に努めます。消防行政については、地域防災力の充実強化に向け、不足する消防団員の確保や研修・訓練を通じ、消

防団の強化を進めます。また、近年は災害対応が複雑・多様化しており、迅速かつ的確な対応が重要です。防火防災や危機管理体制の強化を推進し、関係機関や近隣市町村との広域連携を強化します。

**基本方針の達成を
確実なものにするための
基本的な取組み**

ゼロカーボンについては、白寿大学やまちづくり懇談会などでいただいた意見を参考に、比布町地球温暖化対策実行計画を策定しました。町民の理解が得られない取り組みや町活性化に還元されない取り組みは推進しないことを明記し、今後も理念に基づいた取り組みを進めます。

デジタル技術の進展により住民生活の利便性が向上する一方で、情報セキュリティの重要性は高まっています。情報セキュリティポリシーの策定を進めるとともに、職員研修を実施し、組織全体で危機管理能力の

強化に取り組みます。各庁や団体の補助金・交付金についての情報に注視し、有効な財源確保に取り組みます。

ふるさと納税については自主財源の確保にとどまらず、本町の魅力を全国に発信する戦略的施策として位置づけ、町内事業者と連携した返礼品の充実や情報発信により認知度向上と関係人口の創出を図ります。企業版ふるさと納税についても、企業との信頼関係を大切にしながら、さらなる支援をいただけるよう取り組みます。

旧比布中学校「ヴィレッジ・バイ・ヴォレアス」は、ヴォレアス北海道の練習拠点として活用されています。企業版ふるさと納税を活用しながら、包括連携協定に基づく運営会社との協力事業を支援します。ピップ株式会社とは、PIP相互応援大使活動を通じて連携を深め、相互の知名度やイメージアップを図ります。

情報発信では、広報びつ

ぶや町民カレンダー、防災行政無線、SNSなどを活用し、必要な情報をわかりやすく届けます。町公式LINEでは、防災行政無線の内容に加え、広報紙や町民カレンダーを確認できます。LINEを活用されていない方向けの講座を開催し、利用促進に努めます。

まちづくり懇談会や町長への手紙、出前講座は、町と町民の皆さんをつなぐ場として継続します。

本町に縁のある方々との交流は、郷土を見つめ直し、ふるさとへの思いを深める大切な機会です。本年度も東京比布会、札幌比布会、旭川比布同郷会の皆さんとの交流を深めます。

本町の母村の一つである滋賀県湖南市では、市民の皆さんが本町を訪れるツアーを計画されており、両市町の絆を深める機会にできればと考えています。

町税のうち町民税は、個人分では米の販売価格上昇に伴う農産所得の増加、法人分では法人税割の増加が見込まれることから、町民

税全体で増収を見込んでいます。町税収入全体は3億8,620万円を計上しています。

町税の滞納については、納税者負担の公平性を図るため、引き続き上川広域滞納整理機構と連携し、収納体制の強化に努めます。

行財政改革については、これまでも職員数の適正化や業務委託、指定管理者制度の導入などにより、行政のスリム化を進めてきました。しかし、人口減少や行政需要の多様化により、自治体に求められる役割や業務量は増加しています。

このため、限られた人員で効果を発揮できる組織づくりを進めるとともに、比布町職員人材育成基本計画による職員研修や人事評価制度の適正な運用により、組織力の向上を図ります。

また、地域活性化起業人制度などの民間人材を活用し、適切な人員配置や業務体系の改善を進め、役場が町民の皆さんにとって身近な場所として機能するよう努めてまいります。

教育行政執行方針

教育行政の執行に当たっては、「第13次比布町まちづくり計画」「比布町教育大綱」「比布町立学校づくりの指針」第7次比布町社会教育中期振興計画「北海道教育推進計画」などを踏まえ、昨年度に引き続き、①「社会を生きる力」を育む教育活動の充実、②すべての町民が学び高め合える生涯学習の振興の2点を基本方針として取り組みます。

義務教育学校である比布中央学校を中心に、子どもたちがふるさとに愛着と誇りを持ち、世界に視野を広げながら社会を支える人材として成長できるよう、学校・家庭・地域・行政が連



**子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す
教育の推進**

携した教育環境づくりを進めます。あわせて、町民一人ひとりが生涯にわたり学び続け、互いに高め合える環境づくりを進めます。

変化の激しい時代の中で子どもたちが自分の良さや可能性を認識し、「生きる力」や「主体的に社会に関わる力」を身につけることが重要です。

義務教育学校となって5年目を迎える比布中央学校では、9年間の連続性・系統性を生かした教育活動を展開し、子どもたちが安心して学び、成長を実感できる教育の充実に努めます。

本年度4月の児童生徒数は216人、新1年生は27人で、学級数は19学級、うち特別支援学級は10学級となる予定です。

確かな学力の育成では、基礎的・基本的な知識や技能の定着とともに、「思考力・判断力・表現力」の育

成に取り組みます。そのため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進し、ICTの活用や教科担任制、少人数学習などにより指導方法の改善を図ります。

また、全国学力・学習状況調査などの分析による授業改善を進めるとともに、練成会グループによる学力向上対策事業「チャレンジゼミ」を実施します。

特別支援教育では、一人ひとりの障がい状況に合わせた教育が受けられるよう、教育環境の向上に努めるとともに、教職員の専門性向上や校内支援体制の充実を図ります。また、特別支援教育支援員や放課後児童クラブ指導員と連携し、適切な就学に向けた教育相談やキャリア教育の充実に取り組みます。

教育支援委員会では、学校や認定こども園、保健福祉課などと連携し、発達の遅れなどの早期発見や相談体制の充実を図ります。

STEAM教育では、教科横断的・探究的な学びを通じて、論理的思考力や創



造力、問題解決能力の育成に努めます。

キャリア教育では、「まなび場びつぷ」や首都圏修学旅行などを通じて視野を広げ、社会的・職業的自立に必要な力を育みます。また、キャリア・パスポートを活用し、将来の夢や希望の実現に向けて学び続ける力を育てます。

「君の夢プロジェクト」では、一流のスポーツ選手やプロとの交流を通じて夢や希望を育み、ふるさとへの愛着を育みます。

ふるさと教育では、本町の自然・歴史・文化・産業を学び、地域社会の一人としての意識を育てます。6年生は滋賀県湖南市立下田小学校とのオンライン交流を継続し、郷土愛の醸成につなげます。

英語教育では、本年度から学校法人田中学園と連携

し、外国語指導助手（ALT）2人と補助教員を活用して充実を図ります。1年生から英語に親しむ機会を広げ、将来に生かせる英語力の育成に努めます。

学びの機会を保障し
質を高める環境の確立

誰一人取り残さない多様な学びの機会を確保し、地域や経済状況にかかわらず質の高い教育が受けられる環境の整備が重要です。

教育の情報化では、一人1台端末を有効活用した授業改善や情報活用能力の育成に向けたICT環境の整備を進めるとともに、情報モラルの育成を徹底します。また、教員のICT指導力向上に向けた研修やオンライン教育を進めます。

道徳教育では、道徳科を要として子どもたちが自己を見つめ、物事を多角的に考え行動できるよう、あらゆる教育活動を通じて道徳性の涵養に取り組みます。生徒指導では、課題解決

的な対応にとどまらず、教師と子どもたちの信頼関係を基盤に、課題の未然防止につながる指導の充実に努めます。

いじめ防止については、「いじめ防止基本方針」や道教委のガイドブックなどに基つき教職員の理解を深め、家庭や地域、関係機関と連携した未然防止と早期対応に努めます。

不登校や児童虐待への対応では、日常的に子どもたちの変化に留意し早期対応に努めるとともに、多様な教育機会の確保を図り、子どもたちが安心して学べる環境づくりを進めます。

また、一人1台端末を活用した個別の学習支援や児童生徒理解・支援シートの活用などを通じて、一人ひとりの特性に応じた柔軟な学びを進めます。

教育相談体制では、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、子ども相談支援センターの相談窓口を活用し、体制の充実を努めます。体力の向上では、ピピカ

ツと連携しながら体力・運動能力の向上に努めます。また、全国体力・運動能力調査などを踏まえ、体育授業の改善を図ります。

健康教育では、基本的生活習慣や心の健康に関する指導を充実させるとともに、感染症予防や喫煙・飲酒・薬物乱用の危険性について、関係機関と連携した授業を実施します。虫歯予防についても、学校歯科医などと連携し地域ぐるみで歯・口腔の健康づくりに取り組みます。

食育では、食を通じた地域理解や食への感謝の心を育む教育活動を進めます。学校給食は地元食材やミネ



学校給食

ラル豊富な給食の提供に努めるとともに、家庭や地域と連携し望ましい食習慣の定着を図ります。

給食費については、本年度から国の制度に基づき前期課程を無償化し、後期課程についても国の交付金を活用して全額支援します。

教職員の資質向上では、校内研修や各種研究会への参加を通じて授業力や生徒指導力の向上に努めます。

教職員の服務規律については、公共の利益のために職務を遂行する責務を負い、子どもたちの模範となる立場にあることを自覚し、町民の皆さんの信頼を損なうことのないよう指導の徹底に努めます。

学校における働き方改革では、ICTや校務支援システムの活用により業務改善を進め、教職員が健康で意欲的に教育活動に専念できるよう努めます。

青少年の健全育成については、比布町子ども会育成員連絡協議会などと連携し、地域の教育資源を活用した学習やリーダー育成に取り組みます。「二十歳のつどい」は、ふるさとへの愛着と誇り、支えてくれた方々への感謝を深め、社会的責任を自覚する機会となるよう開催します。

高齢者教育では、白寿大

学を中心に、学生が仲間と楽しみながら学び続け、生きがいづくりや社会参加につながる活動を支援します。また、シニアの皆さんの豊かな経験や知識が生かされ、次世代へ継承される取り組みを進めます。

文化・芸術活動の推進では、福祉会館・分館を学びと交流の場として、各種講座や教室を開設し自主的な文化活動の広がり支援します。

また、文化連盟と連携し、皆さんの自主的な文化・芸術活動が高まるよう、活動団体や町民文化祭の支援を

図ります。

地域と歩む
持続可能な教育の推進

学校と地域がパートナーとして、地域への愛情と誇りを持ち、地域の課題解決に主体的に参画する人材を育成することが重要です。

「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」では、学校運営に地域や保護者の意見を反映するとともに、体験活動や学習活動の充実を図り、学校と地域が協働しながら子どもたちの豊かな学びと健やかな成長、地域の活性化につながる地域学校協働活動を進めます。

部活動の地域展開については、生徒のニーズや地域の実情に応じた活動機会の確保に向け、近隣町と連携しながら指導者や活動場所の確保などを進め、令和10年度までに部活動の廃止を目指します。本年度から剣道部を廃止し、剣道スポーツ少年団による新たな体制で地域展開を進めます。

認定こども園との円滑な接続については、園児と見

蔵書の充実を図るとともに、としよかんまつりやクリスマスイベント、ひろがり文庫による読み聞かせ会、特設展などを実施し、地域交流の場としての図書館運営を目指します。

令和7年度に試験的運用していた休館日や開館時間については、町民の皆さんからのご意見を踏まえ、本年度は月曜日と祝日を休館日とし、土・日曜日は午後5時閉館とします。なお、祝日が連続する場合は、休館日が続かないよう開館日を設定します。

子ども読書活動では、「第3次比布町子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書室への支援や認定こども園、児童クラブへの団体貸し出しを通じて読書環境の充実を図ります。

ブックスタート事業は、4か月健診児を対象に実施するとともに、3歳児への本の贈呈を行い、乳幼児期から本に親しむ環境づくりに努めます。

スポーツの振興では、体育協会やピピカツと連携

生涯学習の推進については、一人ひとりが生涯にわたって主体的に学び、その成果を生かせる環境づくり

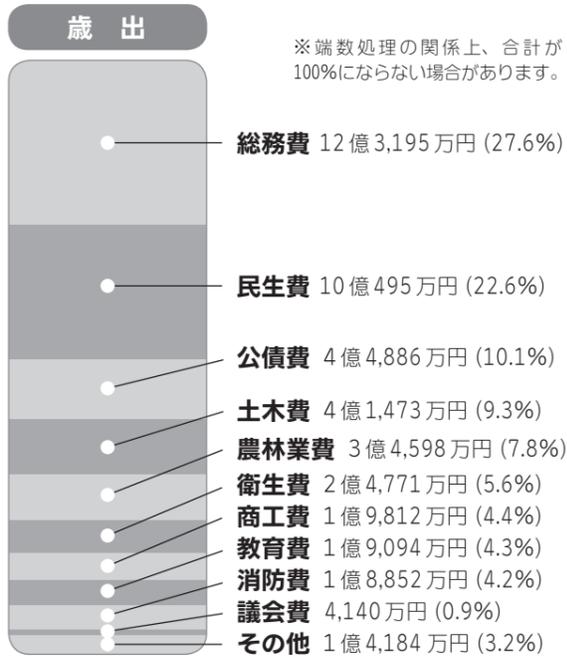
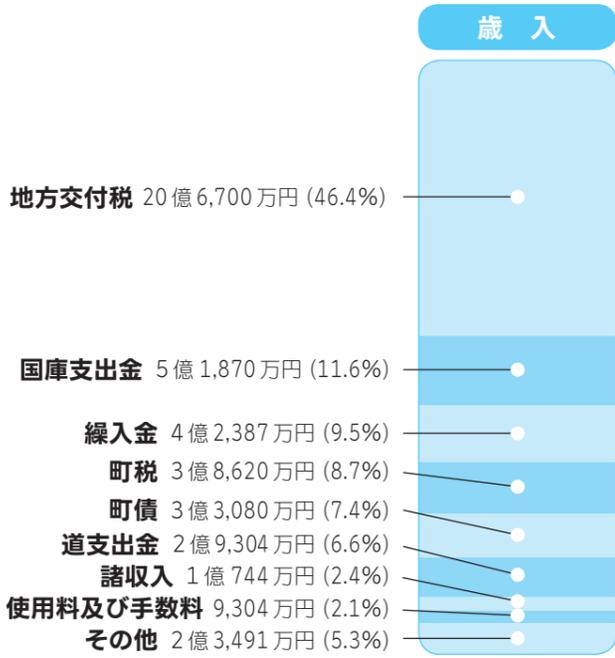
安全・安心な環境のもと、社会性や自主性を育むとともに、規則正しい生活を送れるよう支援し、多様な体

放課後児童クラブでは、安全・安心な環境のもと、社会性や自主性を育むとともに、規則正しい生活を送れるよう支援し、多様な体

図書館活動では、安心して利用できる環境づくりや

図書館活動では、安心して利用できる環境づくりや

令和8年度一般会計の状況



※端数処理の関係上、合計が100%にならない場合があります。

歳入区分	8年度当初	7年度当初	比較増減
町税	386,205	330,894	55,311
地方譲与税	55,664	56,360	△696
利子割交付金	300	110	190
配当割交付金	1,000	900	100
株式等譲渡所得割交付金	2,300	1,400	900
法人事業税交付金	6,300	6,000	300
地方消費税交付金	87,700	80,700	7,000
環境性能割交付金	100	5,700	△5,600
地方特例交付金	8,200	1,500	6,700
地方交付税	2,067,000	2,025,000	42,000
交通安全対策特別交付金	1	1	0
分担金及び負担金	2,853	2,853	0
使用料及び手数料	93,040	96,855	△3,815
国庫支出金	518,700	531,541	△12,841
道支出金	293,040	295,078	△2,038
財産収入	12,477	15,423	△2,946
寄附金	38,010	29,770	8,240
繰入金	423,873	435,085	△11,212
繰越金	20,000	20,000	0
諸収入	107,437	121,730	△14,293
町債	330,800	380,100	△49,300
合計	4,455,000	4,437,000	18,000

歳出区分	8年度当初	7年度当初	比較増減
議会費	41,401	46,857	△5,456
総務費	1,231,952	1,323,758	△91,806
民生費	1,004,952	816,204	188,748
衛生費	247,712	298,407	△50,695
労働費	60	60	0
農林業費	345,978	346,933	△955
商工費	198,117	225,251	△27,134
土木費	414,731	286,722	128,009
消防費	188,524	353,130	△164,606
教育費	190,936	191,484	△548
災害復旧費	20	20	0
公債費	448,860	455,109	△6,249
諸支出金	129,757	81,065	48,692
予備費	12,000	12,000	0
合計	4,455,000	4,437,000	18,000

詳しい事業内容については、今月号に折り込んである「今年予算の使い道」をご覧ください。



夏期は、多目的室内運動場(いちごアリーナ)を「あそびっぶ」として開放し、子どもたちが安心して楽しめる場を提供します。冬季はGS競技大会、町民スキー大会や学校のスキー授業補助を通じて、びっぶスキー場の利用促進と町民の健康増進を図ります。文化・体育施設については、計画的な整備と適切な運営に努めます。



し、生涯にわたりスポーツに親しめる環境づくりを進めるとともに、健康スポーツや軽スポーツの機会を増やし、仲間づくりや世代間交流を促進します。また、部活動やスポーツ少年団活動を支援し、発達段階別の運動教室を実施します。全町ソフトボール大会、全町女性バレーボール大会などの各種大会も継続して開催します。

「平等」と「公平」はそれぞれ異なる意味を持っています。すべての人に同じ条件を与えることが「平等」であり、一人ひとりの状況に応じて必要な支援を行うことが「公平」です。1年生から9年生までが一緒に学校生活を送る比布中央学校では、学校行事や学級活動などさまざまな場面での「平等」と「公平」の配慮が必要となります。それぞれの違いを認め合い支え合うことで、子どもたちは自分らしく成長する力を身につけていくものと考えています。

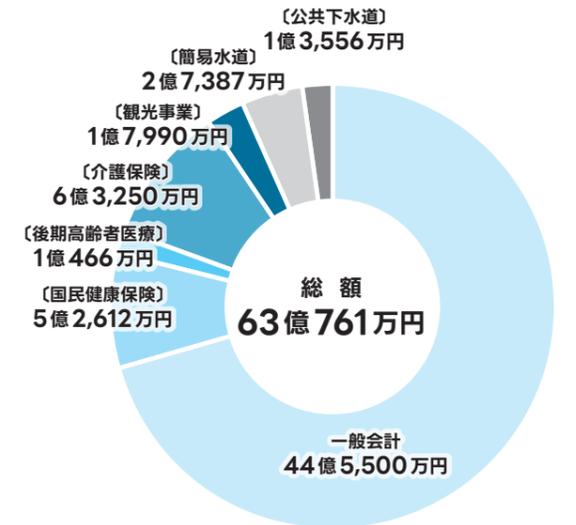
教育委員会は、学校教育と社会教育の融合を図りながら「持続可能な社会の創り手」を育てるため、出生時から15歳まで切れ目のない支援や学びのもと、子どもたちがすべての人を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働して生きていくために必要な力を最大限引き出す教育の推進に努めています。

このため、限られた財源の効率的活用や事業の見直し、公共施設の計画的な再編・集約を進めるとともに、国や道の補助制度、民間企業との連携により、持続可能な財政運営に努めます。町民の皆さんのご理解と協力を得ながら、安定した行政サービスの提供に努め、将来にわたる安心して暮らせる持続可能なまちづくりを進めてまいります。

本年度の予算は、一般会計が44億5,500万円、昨年度より1,800万円増加しました。特別会計と企業会計を含めた予算総額は63億761万円となっています。地方財政計画では、社会保障関係費や人件費、教育無償化に伴う地方負担の増加に対応するため、地方交付税など一般財源総額の増額が示されています。本町の地方交付税は前年比2.07%増の2億6,700万円を計上しています。本町の財政状況は「財政健全化法」に定める4指標すべてが基準以下で健全な状態にありますが、社会保障費の増加や公共施設の老朽化、物価高騰などにより、今後の財政運営は厳しさが増すと見込まれます。

令和8年度全会計の状況

区分	8年度当初	7年度当初	比較増減
一般会計	4,455,000	4,437,000	18,000
特別会計	1,443,184	1,467,305	△24,121
国民健康保険	526,119	520,120	5,999
後期高齢者医療	104,663	82,031	22,632
介護保険	632,500	625,000	7,500
観光事業	179,902	240,154	△60,252
企業会計	409,428	412,494	△3,066
簡易水道	273,872	303,115	△29,243
公共下水道	135,556	109,379	26,177
歳出合計	6,307,612	6,316,799	△9,187



予算概要

04 国民健康保険の手続きをお忘れなく

就職・転職・転出入など、異動の多い時期です。異動があった方は忘れずに国民健康保険（国保）の手続きを行ってください。

問 保健福祉課 社会福祉室 国保医療係

町ホームページ
「国民健康保険の各種手続き」
(保健福祉課)



■加入する方

国保は、病気やけがの際に安心して医療を受けられるように設けられた制度です。加入者の収入などに応じて保険料を出し合い、助け合うこと（相互扶助）を目的としています。

職場の健康保険に加入している方や生活保護を受けている方を除き、すべての方が加入対象です。

■届出は14日以内に

加入の手続き以外にも、下表に該当する方は、異動のあった日から14日以内に必ず手続きをしてください。届け出が遅れると、国保税をさかのぼって納める必要が生じたり、届出前の医療費が全額自己負担になることがあります。

■手続きは世帯主が行います

国保は世帯を単位としているため、手続きは原則、世帯主がまとめて行います。

世帯主が職場の健康保険に加入していても、家族の誰かが国保に加入・脱退する場合は、世帯主が手続きを行う必要があります。

また、国保税の納税義務も、世帯主が負担します。

なお、世帯主が職場の健康保険に加入している場合、国保上の世帯主（納税義務者）を家族のうちの国保加入者に変更することもできます。詳しくは、保健福祉課国保医療係へご相談ください。

●修学のために転出する方へ

通常、国保は住民登録をしている市町村に加入するのが原則です。

しかし、高校・大学などに進学し、他市町村に住民登録を変更した場合でも、転出前の世帯によって生計が維持されているときは、世帯主の届出によって、引き続き元の世帯の被保険者として保険資格が継続される特例があります。

転出手続きの際に、保健福祉課国保医療係へ届け出てください。

◆必要なもの

- ・保険資格が確認できるもの
- ・在学証明書または学生証（新入学の場合は入学許可通知書など）

(表) こんなときには役場国保医療係に届出を

加入される方のマイナンバーがわかるものおよび本人確認書類をご持参ください。

	届け出が必要な場合	必要なもの	提出期限
国保に加入	転入してきたとき	転出証明書	その日から14日以内
	職場の健康保険をやめたとき	職場の健康保険をやめた証明書	
	職場の健康保険の被扶養者でなくなったとき	被扶養者でなくなった証明書	
	子どもが生まれたとき	保険資格が確認できるもの、母子手帳	
	生活保護を受けなくなったとき	保護廃止通知書	
国保を脱退	転出するとき	保険資格が確認できるもの	その日から14日以内
	職場の健康保険に加入したとき	国保および職場の健康保険の保険資格が確認できるもの	
	職場の健康保険の被扶養者になったとき	保険資格が確認できるもの	
その他	死亡したとき	保険資格が確認できるもの 死亡を証明するもの	必要になったとき 速やかに
	町内で住所が変わったとき	保険資格が確認できるもの	
	世帯が分かれたり一緒になったとき		
	国保上の世帯主を変更するとき	保険資格が確認できるもの、世帯主同意書	
	資格確認書を紛失したとき	本人であることが確認できるもの	
	交通事故でケガをしたとき	交通事故証明書	



今月のまちからのお知らせ

医療制度・補助事業・税情報など、町から特にお伝えしたい大切な情報です。

問=問い合わせ先 ☎=電話番号 ※各課の電話番号は2ページに掲載

01 犬を飼われる方は



町ホームページ「犬を飼われる方」(税務住民課)

狂犬病予防法により、生後91日以上以上の犬は「登録」と年1回の「予防接種」が義務付けられています。

●飼う犬の登録

役場税務住民課、または、びっぷ動物病院に「犬の登録申請書」を提出してください。登録料3,000円/1頭

なお、飼いが死亡したときや飼い主の住所変更時、届け出が必要です。

●狂犬病予防注射

日時・場所 左表のとおり
手数料3,240円/1頭
※お釣りのないようご準備

■狂犬病予防接種 移動接種

4月17日(金)	
場所	時間
4区会館前	午前9時～9時10分
南分館前	午前9時15分～9時25分
7区会館前	午前9時35分～9時45分
15区会館前	午前9時55分～10時05分
17区会館前	午前10時15分～10時25分
21区会館前	午前10時35分～10時45分
11区会館前	午前10時55分～11時05分
5区会館前	午前11時15分～11時25分
4月18日(土)	
役場総合車庫前	午前9時～11時30分

「びっぷ動物病院」でも接種可能です。都合が合わない場合は、別の日に動物病院で接種をお願いします🐾

問 税務住民課 税務住民室 環境生活係

▼注意事項

- ①鑑札と狂犬病予防注射済票は、必ず犬の首輪などに付けてください。
- ②町外の動物病院などで予防注射を受けたときは、発行された「予防注射済証」を持参のうえ、役場で「狂犬病予防注射済票」の交付手続きをしてください。手数料550円/1頭

02 「花たびそうや」号を

一緒におもてなししませんか



JR北海道の観光列車「花たびそうや」号が運行されます。比布駅では、スノーベリールによる歓迎の旗振りや特産品販売など、おもてなしイベントを行います。ぜひお越しください。

●運行日・比布駅停車時間

- ▶下り(旭川⇒稚内)
5月9日(土)・16日(土)・23日(土)・30日(土)
午前10時31分～51分(約20分間)
- ▶上り(稚内⇒旭川)
5月10日(日)・17日(日)・24日(日)・31日(日)
※比布駅での停車はありません。

問 おもてなしについて
商工観光課 商工観光振興室 経済活性化係

03 比布町地球温暖化実行計画を

作成しました

町では、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロを目指す「ゼロカーボン」実現に向けた方針を示す「比布町地球温暖化対策実行計画」を策定しました。本計画の作成にあたっては、公益財団法人北海道市町村振興協会(サマージャンボ宝くじの収益金)の助成を受けて実施しています。今後も町民や事業者の皆さんと一体となり、比布町の豊かな自然環境を守り、未来へ引き継ぐための地球温暖化対策をすすめます。

町ホームページ「比布町地球温暖化対策実行計画の策定について」(総務企画課)



問 総務企画課 総合政策室 政策係

05

子育て世帯の移住・定住を
サポートします

町内の空き地・空き家の流動化を図り、町内への移住・定住を促進することを目的に、移住・定住促進事業を実施しています。

01 空き地・空き家流動化促進事業

空き家を購入、または、空き地を購入して住宅を新築する方へ

【子育て支援金】※支援金はお子さん2人まで

- 補助額 新築の場合 お子さん1人につき100万円
中古の場合 お子さん1人につき50万円
 - 対象 義務教育終了前のお子さんがいる子育て世帯
 - 条件 登録事業者から物件を購入後（または住宅を建築後）に、町へ定住する
- 【媒介報酬補助】
- 補助額 最大5万円補助
 - 対象 登録事業者から物件を購入（または売却）し、媒介報酬を支払った方
 - 条件 登録事業者から物件を購入後（または住宅を建築後）に、町へ定住する、または、登録事業者へ媒介報酬を支払う。

02 空き家解体支援 購入した空き家を解体し、住宅を新築する方へ

- 補助額 解体費の1/2（上限100万円）※千円未満は切り捨て
- 対象 義務教育終了前のお子さんがいる子育て世帯（人数は問いません）
- 条件 登録事業者から購入した住宅を解体し、跡地に新たに住宅を建築し町へ定住する。

03 住宅リフォーム支援 住宅を購入し、住みやすくリフォームする方へ

- 補助額 定額50万円
- 対象 義務教育終了前のお子さんがいる子育て世帯（人数は問いません）
- 条件 登録事業者から新たに購入した住宅をリフォームして定住する。
※すでに住宅に居住している場合は対象外です。
また、町が行う他のリフォーム補助制度との併用はできません。

共通条件

- ・義務教育終了前のお子さんがいる子育て世帯
- ・登録事業者（宅建協会旭川支部加盟事業者）から物件を購入する方
- ・比布町に定住する方



問 総務企画課
総合政策室 政策係

町ホームページ
「移住・定住促進支援
制度のご案内」
(総務企画課)



06 「長く住みたい」「これから住みたい」をサポート
比布町住宅リフォーム支援事業

町民の皆さんや比布町で新たな生活を始めたい方が、安心して住み続けられる環境を整えるため、住宅のリフォーム費用の一部を助成します。

- 対象者 次の全てを満たす方が対象です。
 - ①町内に住んでいる方、または、町内に移住する意思があり、確約書を提出した方
 - ②リフォームを行う住宅の所有者で、工事完了後にその住宅に住む方
 - ③本人および同一世帯の方が、市町村住民税などを滞納していないこと
 - ④過去に住宅の改修工事を目的とした町の補助金を受けていないこと
- 対象物件 築30年以上の戸建て住宅
- 助成内容
 - ・町内の事業者を利用する場合 最大50万円
 - ・町外の事業者を利用する場合 最大30万円
- 対象工事 令和8年4月以降に実施される、税込み110万円を超える増築・改築・改修工事

問 建設課 整備室 建築係

町ホームページ
「比布町住宅リフォーム
支援事業」(建設課)



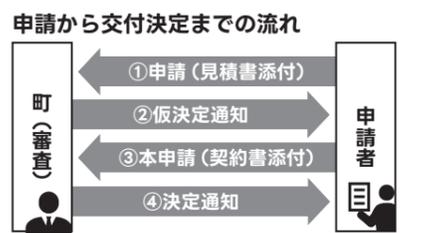
- ▼対象工事の例
 - ・基礎、土台、梁、柱の工事
 - ・筋かい、火打ちなどによる補強工事
 - ・外壁、屋根などの改修、塗装工事
 - ・間取りの変更、段差の解消
 - ・断熱工事 ・各種内装工事
 - ・耐久性、安全性能向上工事
- ※国・道・町などの公共団体から助成を受けて行った工事や、固定されていない物品の購入費用を除いた費用が対象です。
※工期は原則3か月以内とします。

受付期間を設定します

- 申請件数の増加により予算額を上回るケースが増えているため、受付期間を設定します。
- ☑ 受付した申請額の合計が予算内であれば受付完了です（「仮決定通知書」を送付します）
- ☑ 予算の上限に達した場合は抽選を実施します
- ☑ 仮決定通知がされた申請者は、必要書類を添付し、「本申請書」を提出してください

受付期間
5月中旬から

※予算の上限に達しない場合は、期間を追加します。
詳しい期間については随時、防災行政無線や町公式LINEなどでお知らせします。
※約7～10日間の受付期間を予定しています。



07 空き家の今後を考えてみませんか？

現在、住んでいない家屋をお持ちの方や、近い将来、管理が難しくなることが予測される方は、一度その物件の今後について考えてみませんか？

近年、全国で「相続したものの管理ができず困っている」というケースが増えています。例え相続を放棄しても、その物件で起こった事故（落雪など）の責任は、所有者である家族が負うこととなります。

もし、不動産としての価値が少しでもあれば、宅建協会に加盟する不動産業者への相談や、「みんなの0円物件®」（無償譲渡物件不動産マッチングサイト）などを利用し、少ない費用で整理できる可能性もあります。

まずは、お気軽に建設課管理室管理係へご相談ください。

問 建設課 整備室 管理係

町ホームページ
「移住・定住サポート
情報」(建設課)



- 民間賃貸物件情報
- 空き地・空き家の購入支援
- 不動産業者への媒介報酬補助制度
- 民間空き地・空き家物件情報などを掲載中



活用された方の声

「子どもが生まれたことをきっかけに、家を建てることを考え始めました。自然が身近で、落ち着いた環境の中で子育てができる比布町はとても魅力的です」と話す山田さん。住宅取得にあたっては、町の支援制度が後押しになったといいます。

「住宅の新築には大きな費用がかかりますが、町の補助制度があったことで安心して計画を進めることができました。」

現在は新しい住まいで、家族との時間を大切に過ごしているとのこと。「近くに立派な公園もあって、子どもがのびのびと遊べる環境があり、近所の方も温かく声をかけてくれるので安心して暮らしています。これからもこの町で家族とともに暮らしたいです」と話されました。

令和7年度に子育て世帯移住・定住促進事業を活用し、町内に新築住宅を建てた山田さんご家族にお話を伺いました。

情報満載

暮らしに役立つ情報を掲載します。

マークの見方

- 日=日時 所=会場
- 対=対象 定=定員
- 内=内容 料=料金
- 申=申し込み先
- 問=問い合わせ先
- ☎=電話番号
- ℡=FAX番号
- ✉=メールアドレス

募集

農産加工室5月利用分 申込み受付

5月1日から31日までの間に農村環境改善センター農産加工室の利用を希望する方は、5人以上のグループで、加工品目と数量をまとめてお申し込みください。
申込締切 4月13日(月)

抽選会 4月20日(月)午前9時30分から

所 福祉会館第3研修室
申 問 役場農林課 農林業振興室 農政係

募集

「農産加工ゼミの会」で 農産加工を学びませんか

農産加工グループ「農産加工ゼミの会」では、地元農産物の活用を図るとともに、加工技術を地域へ紹介し、農産物の加工を通じて農業者と消費者の交流を促進することを目的に活動しています。

入会を希望する方は、役場農林課へお申し込みください。

内 加工技術の研修(年3回程度)
料 材料費として毎回1,000円程度
申 問 役場農林課 農林業振興室 農政係

町HP「農業委員の募集について」▼

募集 比布町農業委員を募集します



比布町では、農業委員の任期終了に伴い、7月20日から活動していただける委員を募集します。
対 農業に精通した方で、次の条件を満たす方。
 ①比布町に住所のある方
 ②比布町の教育委員、固定資産評価委員会委員、町職員ではない方
募集人数 11人
任期 7月20日～令和11年7月19日
応募方法 応募、または、推薦により。推薦・応募用紙に必要事項に記載し、農業委員会事務局へ提出してください。
応募期限 4月24日(金)
 詳しくは町ホームページ(上記二次元コード)をご確認ください。
問 農業委員会事務局

大雪消防組合HP▼

林野火災注意報・警報について



令和8年4月1日から、少雨や乾燥した日が続くなど林野火災が発生しやすい気象条件となった場合に林野火災注意報、または、林野火災警報を発令します。
 発令の際には、対象区域におけるたき火や火入れなど、屋外での火の使用が制限されますので、ご注意ください。
 対象区域は比布町内の山林が主で、期間は4月から6月までの間に発令される可能性があります。
 制限される行為などの詳細は大雪消防組合ホームページ、または、比布消防署へお問合せください。
問 大雪消防組合比布消防署 広報係 ☎25-0110

春のヒグマ注意特別期間のお知らせ

北海道では、4月1日から5月31日までを「春のヒグマ注意特別期間」に設定しています。ヒグマによる人身被害を防止するため、次の点にご注意ください。

- ・一人で野山に入らない
- ・野山では音を出しながら歩く
- ・食べ物やゴミは必ず持ち帰る
- ・事前にヒグマの出没情報を確認する
- ・薄暗いときは行動しない
- ・フンや足跡を見たら引き返す

問 役場農林課 農林業振興室 林務畜産係



遊歩道整備ボランティアを募集します

突哨山はさまざまな野草を楽しむことができ、中でもカタクリの群生は日本最大級ともいわれています。今シーズンも多くの方が気持ちよく散策が楽しめるよう、ボランティアを募り、カタクリなどの開花前に遊歩道の整備を行いますので、ご協力をお願いします。
日 4月18日(土)午前9時(雪解けの状況次第で日程を変更する場合があります)
所 びびの路村上山公園側入口集合
内 笹刈り、枝切り、ごみ拾いなど
持ち物 ブラシカッター、のこぎり(お持ちの方のみ)
服装 長靴、軍手など作業のできる服装
申込締切 4月15日(水)
申 問 役場総務企画課 総合政策室 政策係

突哨山運営協議会で一緒に活動しませんか

突哨山運営協議会では、突哨山の管理・運営方針を協議する運営委員を募集します。
 遊歩道の草刈りや駐車場・トイレの管理だけでなく、保全のための生態系の調査、環境教育やフィールドワーク、イベントの協力、さらに人工林をより自然度の高い森林に育てていくなどの事業を行っています。
 突哨山運営協議会は、これらの事業の基本方針について意見を取り入れながら、協議し行政へ提言していきます。
対 突哨山での活動に関心があり、積極的に参加していただける方
申込締切 4月30日(木)
申 問 NPO 法人もりねっと北海道 ☎30-9049 ✉ask@morinet-h.org

ねんきんワンポイント

問 役場税務住民課 税務住民室 戸籍年金係
 旭川年金事務所 ☎25-5606 (自動音声案内2→1)

●過去の学生納付特例の申請について
 平成26年4月から、免除申請期間が拡大されています。過去に申請を忘れていた方も手続きが可能ですので、令和8年4月中に申請される方は、下表を参考にしてください。

【学生納付特例の申請可能期間と前年所得の関係】

年度(令和)	学生納付特例の申請可能な期間	審査対象となる前年所得
5年度分	令和6年3月	令和4年中所得
6年度分	令和6年4月～令和7年3月	令和5年中所得
7年度分	令和7年4月～令和8年3月	令和6年中所得
8年度分	令和8年4月～令和9年3月	令和7年中所得

学生の方は「学生納付特例制度」

前年の所得が一定額以下の学生は、市町村の窓口に申請し承認を受けることで、国民年金保険料の納付が猶予されます。申請が遅れると「障害基礎年金」などを受けられない場合がありますので、手続きはお早めをお願いします。

●手続きに必要なもの

- ・マイナンバーが確認できる書類および本人確認書類
- ・申請年度有効の学生証(コピーの場合は両面)、または、在学証明書の原本

令和8年度 国民年金保険料
 第1号被保険者 月額 **17,920円**

求人募集

求人情報の掲載について
問 商工観光課 商工観光振興室 商工労働係

- 作業スタッフ **パート**
 有限会社遠藤農産
 北1線8号 ☎85-2193
- タクシー乗務員 **正社員**
 旭川合同自動車株式会社
 旭川市大雪通9丁目 ☎24-2211
- 鉄骨建築作業員 **正職員**
 株式会社コタニ工業
 基線4号 ☎54-1555
- ホテルスタッフ **正社員** **パート**
 野口観光マネジメント株式会社
 上川町層雲峡温泉 ☎0570-026572
- 売場スタッフ **パート** **アルバイト**
 セイコーマート比布新町店
 新町2丁目 ☎85-2881
- 作業スタッフ **パート** **アルバイト**
 茂田石油株式会社
 当麻町宇園別1区 ☎58-8123
- 保育士・児童指導員 **正社員**
 ■保育士・指導員 **パート** **アルバイト**
 勤務先/さぼーとnaviぴっぷ
 株式会社ナビ
 寿町4丁目 ☎55-5877
- 電気工事作業員 **正職員** **アルバイト**
 山崎電機株式会社
 愛別町字南町13番 ☎01658-6-5323
- 農作業スタッフ **季節雇用** **パート**
 株式会社ノウリエ
 北3線10号 ☎090-6212-3672

詳しい募集内容は町ホームページ「事業所の求人情報」(商工観光課)



求人募集情報は、①町図書館②農村環境改善センター③比布駅④旭川信金比布支店で掲示しているほか、⑤町ホームページにも掲載しています。



子育て・教育

子育てや教育に関する情報を掲載します。



ぴっぷちょう としょかん ぶっくんノート

比布町図書館 ☎ 85-3354

開館時間 午前10時～午後6時

休館日 4月5・6・12・13・19・20・26・27・29・30日
※休館中、本は図書館入口右の「返却ポスト」に入れてください。

●4月のテーマ展

「年間貸出ランキング2025」

昨年の貸出数をもとに、人気の本をランキング形式で紹介いたします。



●新刊図書紹介

今月のおすすめ新刊図書をお知らせします。

青青といく

永井 紗耶子/著

当代きっての儒学者で諸藩の経済改革に助言をし、江戸の世に自由な生き方を説いた海保青陵が亡くなった。最後に弟子入りした16歳の弥兵衛は、青陵ゆかりの人々を訪ね歩き…。『小説野性時代』掲載を加筆修正し単行本化。



今日もぼーっと行ってきます

中島 京子/著

われわれには「ぼーっとする時間」が必要だ！野鳥公園、フェリー、銭湯…。情報や仕事、雑事に追われる日常生活から離れ、気持ちのいい空間を、ただひたすらぼーっと散歩する小さな旅を綴る。note連載を書籍化。



ねこ いる！いる！

たなか ひかる/作

ねこが居るか居ないか、気をつけて読んでみてね。バナナ、りんご、マカロニ、歯磨き粉。居るはずがないところにもねこは居て…。ナンセンスな展開と言葉の繰り返しが子どもたちの笑いのツボを刺激する楽しい絵本。



休館日・開館時間の変更

昨年度実施した試験運用の結果を踏まえ、令和8年度から図書館の休館日および開館時間を次のとおり変更します。なお、運営変更に伴う準備のため、5月末までは現在の休館日・開館時間で運営いたします。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。

	現行(試験運用期間)	令和8年6月から
休館日	●毎週日・月曜日・祝日 ●毎月最終水曜日 ●年末年始(12/30~1/5)	●毎週月曜日・祝日 ●毎月最終水曜日 ●年末年始(12/30~1/5)
開館時間	午前10時～午後6時 土曜日は午後5時まで	午前10時～午後6時 土・日曜日は午後5時まで

募集

春の突哨山散策ツアー 参加者募集

突哨山は、日本有数のカタクリの群生地として知られ、春になるとエゾエンゴサクやピップイチゲなど、色とりどりの花々が咲き誇ります。ガイドの話聞きながら、花々の魅力や自然を学びつつ、暖かな春の日差しの中でのんびり散策してみませんか？

日 4月29日(水・祝) 午前9時～正午

所 びびの路村上山公園側入口

服装 軍手、動きやすい靴、飲み物、雨がっぱなど

申込締切 4月22日(水)

申 右記の二次元コードを読み取り、申し込みフォームにアクセスしてください。



春の突哨山散策ツアー
申し込みフォーム▲

問 教育委員会教育課
生涯学習推進室 文化振興係



固定資産税台帳の縦覧・閲覧が始まります

土地や家屋の所有者(固定資産税の納税者)が、自己の資産と他の土地・家屋の評価額を比較できるよう、価格などが縦覧できます。縦覧期間 4月1日(水)～7月31日(金) ※土・日・祝日を除く

所 役場税務住民課税務係窓口

対 固定資産税の納税者・代理人

持ち物 納税通知書など本人確認ができるものをご持参ください。代理人の方は、委任状と代理人の印鑑、運転免許証などが必要です。

縦覧内容 ①土地価格等縦覧帳簿：地番・地目・面積・評価額

②家屋価格等縦覧帳簿：家屋番号・種類・構造・面積・評価額

※個人情報保護のため所有者名は記載されていません。事前にご自身の物件や比較したい物件の地番・家屋番号などを確認のうえ、お越しください。

▼固定資産税課台帳の閲覧

対 固定資産税の納税者、借地・借家人

持ち物 納税者は運転免許証など本人確認ができるもの、借地・借家人は印鑑・契約書など貸借関係を確認できる書類をご持参ください。

問 役場税務住民課 税務住民室

税務係

募集

自衛官候補生を募集します

▼自衛官候補生
受験資格 日本国籍を有し、採用予定月の1日現在、18歳以上33歳未満の男女

受付期間 3月1日(日)～5月7日(木)

試験日 5月16日(土)～25日(月)のいずれか一日

試験会場 陸上自衛隊旭川駐屯地

問 自衛隊旭川地方協力本部
旭川地区隊 ☎ 55-0100

交通事故相談所を設置しています

北海道では交通事故相談所を設置し、専門の相談員が無料で相談に応じています。

▼定期巡回相談(事前予約制)

日 4月28日(火) 午後1時～4時
※毎月1回開催。相談1件当たりの所要時間は約1時間(相談内容や予約状況によって異なります)。

所 上川総合振興局交通事故相談所

申込締切 4月21日(火)正午まで

問 上川総合振興局 環境生活課
☎ 46-5923

旭川中央警察署から

▼雪解け時期の運転に注意

雪解けが進む時期となり、乾いた路面が多くなることで、つい速度を出してしまいたくなりますが、道路に流れる雪解け水が夜間から早朝にかけて凍結しているかもしれません。

油断することなく、安全な速度での運転を心掛けましょう。

問 旭川中央警察署 ☎ 25-0110

子育てサポート「ハッピー」一時預かりサービス

「買い物に行きたい」「通院したい」「急用ができてしまった」など、さまざまな理由で必要なときにお子さんを預けられるサービスです。

対象 町内の0歳(生後1か月)～6年生

時間 午前7時～午後10時の間

場所 原則、スタッフ会員の自宅(その他は要相談)

利用方法 利用会員として入会が必要です。申込書を保健センターへ提出後、スタッフ会員の名簿・連絡先をお渡しします。利用時は、希望スタッフ会員へ直接連絡してください。

料金 30分350円(複数預ける場合は2人目から半額)

申 子育てサポート団体「ハッピー」事務局(保健センター内)

町ホームページ
「子育てサポート団体
『ハッピー』」▶



スタッフ会員は研修を行い、万が一に備えて賠償保険にも加入しています。安心してご利用ください。なお、スタッフ会員も募集しています。



スタッフ会員の皆さん

八巻良博さんが 道監査委員功労表彰を受賞

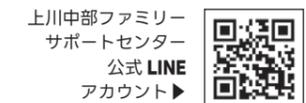
町監査委員の八巻良博さん(10区)が北海道町村等監査委員協議会より表彰状を授与されました。この表彰は、多年にわたり町の監査業務に精励し、地方自治の振興発展に貢献された功績が認められたものです。八巻さんは、「適切な予算執行に向けて、引き続き尽力していきたい」と話されました。



上川中部ファミリー・サポート・センター事業のお知らせ

特定非営利活動法人 旭川 NPO サポートセンター
☎ 74-5380 (平日 午前9時～午後5時)

比布町を含む旭川大雪圏域1市8町では、子育ての援助を受けたい方(利用会員)と援助を行いたい方(スタッフ会員)が会員登録し、地域で支え合う会員制の相互援助活動を行っています。



支援内容

〔日常サポート(生後6か月～小学6年生)〕 保育園や学校などへ送迎、登園・降園や登下校前後の預かりなど、日常的・定期的な利用。

〔病児・緊急サポート(0歳～小学6年生)〕 病児・病後児の預かりや、保護者の急用・体調不良による急な預かり。

利用方法 利用会員としての登録が必要です(無料)。登録の申し込みは、原則平日に受け付けています。

料金 平日や土・日・祝日、サポート内容により料金が異なります。詳しくはホームページをご覧ください。

スタッフ会員募集
子育て支援にご協力いただけるスタッフ会員を募集しています。年2回、養成講座を開催しています。詳しくはお問い合わせください。

愛LOVEぶっくん ライターコンクール審査結果

比布町と愛別町の小学生を対象に毎年開催している読書感想文コンクールは、今年で15回目を迎えました。このコンクールは、児童が読書を通じて考える力や豊かな人間性を育むことを目的としています。

今年は、本をイラストと文字で紹介する「ポップ部門」を新設。両町合わせて読書感想文65点、ポップ13点の応募がありました。受賞作品を収めた作品集は図書館にありますので、ぜひご覧ください。

- ◆低学年の部**
〔読書感想文〕 最優秀賞 中澤佑馬(1年) / 優秀賞 塩澤心春(2年) / 佳作 大島あきの(2年)・片倉唯(2年)
〔ポップ〕 最優秀賞 佐山和(1年) / 佳作 中澤佑馬(1年)



- ◆中学年の部**
〔読書感想文〕 最優秀賞 梅澤恵実華(4年) / 優秀賞 加藤那由多(3年)・中澤好美(3年) / 佳作 齋藤唯月(3年)・森谷凌輔(3年)・山崎百々花(3年)
〔ポップ〕 優秀賞 高田心晴(3年)・中澤好美(3年)

- ◆高学年の部**
〔読書感想文〕 最優秀賞 高橋絆心(5年) / 優秀賞 高田想音(5年)・大島いちか(6年) / 佳作 堀野彩月(5年)・佐藤茜(6年)
〔ポップ〕 最優秀賞 佐藤茜(6年) / 優秀賞 大島いちか(6年) / 佳作 出口朱璃(5年)

最優秀賞受賞者のコメント

低学年の部・読書感想文
最優秀賞 中澤 佑馬さん
「たった2℃で…」
お母さんにすすめられてこの本を選びました。難しかったけど、最後まで書いてよかったです。来年もあればまた応募したいです。



低学年の部・ポップ
最優秀賞 佐山 和さん
「バムとケロのにちようび」
はじめはうまく描けなかったけど、あきらめずに描いて、選ばれてとてもうれしいです。これからたくさん本を読みたいです。

中学年の部・読書感想文
最優秀賞 梅澤 恵実華さん
「ムゲンのi(アイ)」
お母さんに勧められてこの本を選びました。書くのは大変だったけど、最優秀賞に選ばれて、努力は実るものだと思います。

高学年の部・ポップ
最優秀賞 佐藤 茜さん
「二人一組になってください」
はじめは構図に悩んだけど、絵を描くのが好きなので楽しく描けました。工夫して頑張ったので、選ばれてとてもうれしいです。

高学年の部・読書感想文
最優秀賞 高橋 絆心さん
「52ヘルツのクジラたち」
比布と愛別の中で最優秀賞に選んでもらえたことが、とてもうれしいです。難しかったけど、自分なりにうまく書けたと思います。

うれしば保育園ぴっぷで園児と遊びませんか？

☎ うれしば保育園ぴっぷ ☎ 74-5151

- ▼園開放「エミナ」(予約制)
0歳から2歳児までの未就園のお子さんを対象に、月1回実施しています。ぜひご参加ください。
- ☎ 5月12日(火)午前10時～11時30分
- 定 親子5組
- 内 春のせいさくあそび



参加申し込みは Instagram から @urespapippu

うれしば保育園ぴっぷ - エ・ミ・ナ

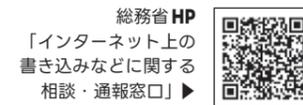
エミナは、アイヌ語で「あなたが笑う」という意味です。

子どもを守るスマホのルールについて

総務省北海道通信局 情報通信部 電気通信事業課
☎ 011-709-2311

春の卒業や進学、新入学により、自分のスマートフォンを持つ青少年が増える季節です。保護者の皆さんは、お子さんがスマホを利用される際、次の点にご注意ください。

- ①適切にインターネットを利用する
子どもたちがSNSで誘い出され、事件に巻き込まれる深刻な事案が発生しています。インターネットに関する知識や情報モラルを身につけ、正しく利用しましょう。
- ②家庭のルールを作る
長時間利用によるネット依存症も増加しています。お子さんと一緒に話し合い、「利用時間は夜9時まで」など、具体的にルールを決めましょう。
- ③フィルタリングなどを設定する
違法・有害サイトへのアクセスを制限する機能です。課金制限や時間管理を設定できる「ペアレンタルコントロール」機能も活用し、トラブルからお子さんを守りましょう。



教職員等の転出異動

- ▼退職者(3月31日付)
 - 樋口孝徳
- ▼転出者
 - 杉本 仁(和寒町和寒中)
 - 齋藤裕子(旭川市北光小)
 - 山崎優輝(在外教育施設派遣)
 - 鈴木弘枝(東川町東川小)
 - 大蔵理恵(旭川市永山西小)
 - 宮原希美絵(旭川市高台小)
 - 大家大地(当麻町当麻小)
 - 梅田 桂(鷹栖町鷹栖中)

ぴっぷ子育て応援 LINE

子育て世帯向けのLINE公式アカウントです。ぜひ登録してご利用ください。

- 子ども向けイベント
 - 子育て支援制度
 - フォトニュース
- 友達追加はコチラ▶



すまいるキッズ

子どもたちの笑顔あふれるスナップをお届けします



3.7 うれしば保育園びっふ成長を祝う会

3.21 くるみ保育園卒園式

3.11 比布中央学校卒業証書授与式

こどものひろばとは

入園前の親子を対象に、遊びの経験や育児に関する情報提供、保護者同士の交流の場として開催しています。親子のふれあい遊びや感覚遊びも取り入れています。相談事も随時受け付けています。予約は要りません。

【開催日】
月・水・金曜日：午前9時～正午
午後1時～3時
火・木曜日：午前9時～正午

子育て相談

子育て相談員が育児に関する心配事などをお聞きします。町内の子育て家庭が対象(就園・就学児も可)で、場所は保育園や児童クラブ、自宅など希望に沿うことができます。電話やLINEでの相談もでき、内容に応じて保健師や栄養士も対応します。

いつでもどこでも相談可能♪
子育て支援センター
公式LINEアカウント▶



今月の行事

- 16日(木)「すくすく子育て講座」<予約制> 講師：平尾佳奈子さん「フットケア」を行います。お母さんのリフレッシュにいかがですか？ぜひご参加ください。予約が必要です！
- 27日(月)・28日(火)「こいのぼり制作」
今年はどうなこいのぼりにしようかな？お楽しみに！



こどものひろば

問 子育て支援センター ☎ 85-2555

日	月	火	水	木	金	土	4月のカレンダー
天気の良い日はお散歩に行きます！ベビーカーの準備をお願いします♪			1	2	3	4	
5	6	7	8 ほっぺ	9	10	11	
12	13	14	15 きらら いちご 午後お休み	16 ★	17	18	
19	20 壁面	21 記入日	22 壁面	23 乳児健診	24 記入日	25	
26	27 ★	28 ★	29 昭和の日	30	相談は随時受け付けています。お気軽にお声掛けください。		

ほっぺ 0歳児 いちご 2歳児 記入日 ファイル記入日
きらら 1歳児 壁面 壁面制作 ★ 今月の行事

What a wonderful Pippu!

vol.14

アンソニー先生のびっふ暮らし



外国語指導助手
アンソニー・グラヴィク
Anthony Glavic

比布中央学校のALT(外国語指導助手)として赴任した、オーストラリア出身の40歳。元パティシエで、趣味は料理と映画鑑賞。

Try English!

Hello everyone, how are you all? So, this will be my last entry in the Pippu newsletter. My time in Pippu has come to an end. It has been a fun three years living and working in this town. I am a long way from home, but I have always felt welcome here in Pippu. It has been fun teaching my students at school and meeting people around town. I really enjoyed experiencing the festivals and activities here in Pippu. It was really fun coming to the summer festival each year. I liked watching all the different music performances and eating delicious food. It was always exciting watching the fireworks at the end of the festival! I wish everyone all best in their studies and life goals. I hope to visit Pippu again! Take care and see you around someday!goals. I hope to visit Pippu again! Take care and see you around someday!

3月をもって退任するアンソニー先生。3年間を過ごした感想を込めた、最後のコラムをお届けします。

皆さんこんにちは。いかがお過ごしでしょうか。さて、今回が私の「広報びっふ」への最後の寄稿となります。比布町で過ごす時間も、いよいよ終わりを迎えます。この町で暮らし、働いた3年間は本当に楽しい時間でした。故郷からは遠く離れていますが、比布ではいつも温かく迎えられていると感じていました。学校で生徒たちに教えたり、町で皆さんとお会いしたり、とても楽しかったです。

比布のお祭りや行事に参加できたことも、良い思い出です。毎年夏祭りに参加するのは本当に楽しく、さまざまな音楽パフォーマンスを見たり、美味しいものを食べたりするのがお気に入りでした。お祭りの最後に見る花火には、いつもワクワクさせられました！

皆さんの学業や人生の目標が、素晴らしいものになるよう応援しています。またいつか比布を訪れたいです。どうぞお元気で、またどこかでお会いしましょう！

令和7年度比布町教育奨励賞受賞者が決定

比布町教育奨励賞は、文化・スポーツ活動で優秀な成績を収めた児童生徒を、教育委員会が表彰するものです。令和7年度は、過去最多人数となる26人が受賞されました。

受賞者・出場大会名

- 大石胡花さん ●中野稀映さん
第25回全国小学生ソフトテニス大会ほか
- 中野紗和さん ●青木理音さん
- 上田星さん ●佐藤日咲さん
第67回全国選抜少年剣道大会
- 稲場絢凧さん ●佐藤茜さん
第42回全日本小学生ソフトテニス選手権大会ほか
- 梅澤満喜さん
第14回J:COM杯3月のライオン子ども将棋大会
- 大島こなつさん ●佐藤緑さん
第88回全日本ペン書道展
- 勝見萌衣さん ●勝見友音さん
第23回全国中学校選抜ソフトテニス大会ほか
- 寒河江冨六さん
第51回全国中学生レスリング選手権大会ほか



- 荒尾君花さん ●平尾紅葉さん ●古川那奈さん
- 菅原聖夢さん ●田沼祥乃さん
第21回東日本中学校選抜ソフトテニス大会
- 堺彪真さん ●畠山仁さん
第59回全国道場少年剣道大会
- 藤本煌叶さん
第14回日本リトルシニア東日本選抜野球大会
- 山口愛結さん
第23回全日本女子軟式野球学生選手権大会
- 勝見洸太さん
第75回全国高等学校スキー大会
- 宮田菜菜さん
第76回日本学校農業クラブ全国大会
- 山田玲華さん
第54回ハイスクールジャパンカップソフトテニス2025



保健センター通信 ホケセンだより



保健センター
☎ 85-2555

自分の体を知るために健診を受けましょう

今年度の健診（検診）日程は下記の通りです。

4月上旬～下旬に、各種健診の案内を郵送しますので、ご確認ください。

集団健診を希望される方は、保健センターに申込票をご提出ください。

なお、令和7年度に集団健診（検診）を受けた方は、自動的に今年度も申し込みとなりますので変更がない場合は申込不要です。



令和8年度 各種健診予定表

①健康診査・がん検診

	実施日	申込先	健康診査	がん検診					
				胃	肺	大腸	前立腺	子宮	乳
集団	町民総合特定健診 7月14日～17日 10月14日～16日	保健センター	○	○	○	○	○	×	×
	旭川がん検診センター 7月8日・28日 8月14日・31日 1月19日・2月4日	保健センター	○	○	○	○	○	○	○
個別	旭川がん検診センター 6月1日～3月31日	旭川がん検診センター	○	○	○	○	○	○	○
	町立ぴっぷクリニック 6月1日～3月31日	町立ぴっぷクリニック	○	○	○	○	○	×	×

②その他

事業名	実施日	対象者	申込先
いちごっ子ヘルスアップ健診	6月30日・7月1日	5年・8年生ほか	保健センター
エキノコックス検査		8年生、7～11区・新町にお住まいの20歳以上の方	申込不要

●結核・肺がん検診について

「結核・肺がん検診」は、「肺がん検診」に統一し、町立ぴっぷクリニックで実施します。希望される方は、町立ぴっぷクリニックへ直接ご予約ください。

●がん検診無料クーポン券をご利用ください

下記対象の方には、がん検診無料クーポン券をお渡しします。各種健診案内に同封していますので、ぜひご利用ください。※年齢は令和9年3月31日時点です。

・48歳男性・49歳女性：「いっこクーポン」胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診が全て無料！

・26歳女性：「子宮がん検診無料クーポン」・41歳女性：「乳がん検診無料クーポン」

保健センターでは、以下の相談などに対応いたします！

●妊娠から出産、子育て

健診の助成、乳幼児健診、子育て・発育などの相談、予防接種助成など

●精神、ひきこもりに関する相談 ●感染症に関する相談 ●栄養に関する相談

●高齢者の予防接種に関する助成 ●その他、健康に関する相談

年1回、ご自身の健康管理のために健診を受けましょう！



お気軽にご相談ください！



地域包括支援センターは高齢者の相談窓口です

地域包括支援センター
(役場保健福祉課内)
☎ 85-2112

地域支え合いサポーター活動のご紹介

地域支え合いサポーターの皆さんが、地域の方の健康づくりのため地区サロン等で活動されています。「ふまねっとサポーター」と「ピピカツリハビリ体操指導士」について紹介します。

ふまねっとサポーター

ふまねっと運動とは、あみを踏まないように手拍子や歌に合わせた様々なステップを行うものです。現在、60～80歳代の29名のふまねっとサポーターが、14のサロン・団体で、ふまねっと運動を実施しています。また、サポーター自身の勉強（スキルアップ）・健康づくりのため自主研修会を2か月に1回開催しています。



▲自主研修会の様子

ピピカツリハビリ体操指導士

現在、17人の体操指導士が地区サロンなどでリハビリ体操の普及活動を行っています。

また、広報ぴっぷでリハビリ体操の紹介（不定期で掲載）をしています。



募集中

ふまねっとサポーターになりませんか？

サポーター養成講習会（オンライン）が開催されます。活動に関心のある方は、比布町包括支援センターへお問い合わせください。

きたよん通信

上川中部基幹相談支援センター「きたよん」

当麻町3条東2丁目11-1 (当麻町役場庁舎内)

☎ 84-7111 FAX 84-7333 ✉ kitayon@potato.ne.jp

開設時間 月～金曜日(祝日を除く) 午前8時30分～午後5時15分

障がい者虐待防止センター専用電話(24時間対応) ☎ 84-7222



手話奉仕員養成講座(入門) 受講生を募集します

初めて手話を学ぶ方向けの講座です。皆様のご参加をお待ちしています。

日時 5月27日～11月11日の毎週水曜日(6月24日、9月23日を除く)

会場 愛別町総合センター(愛別町字本町345番地)

対象者 当麻町・比布町・愛別町・上川町に在住・在勤・在学者で、義務教育を修了した方。

受講料 無料(テキスト代4,290円は受講者負担)

※手話動画視聴を希望される方は各自申込となります(自己負担あり)

申込方法 電話、または、Eメールで5月15日(金)までにお申し込みください。

状況により変更・中止になる場合があります。詳細についてはお問い合わせください。

きたよんサロン

障がいのある方や家族が交流できる場として、月1回開催しています。

日時 4月22日(木)午後3時～

問い合わせ 保健福祉課 社会福祉室 福祉係・上川中部基幹相談支援センター「きたよん」

教育長の退任・就任

3月10日に開催された町議会定例会において、
教育長の任命が、議員全員の賛成により承認されました。



退任のごあいさつ
北川 範之

この度、3月31日をもって教育長職を退任いたしました。教育長として7年6か月、皆様方の温かいご支援をいただきながら、教育行政を推進してまいりました。本当に感謝に堪えません。

顧みますと、義務教育学校を開校したことや新型コロナウイルス感染症の対応に当たったことが、特に心に残っております。

予測不可能な時代の中、これからの社会を担う子どもたちには、変化を取り込みながら柔軟に対応できるよう、生涯にわたって主体的に学び続け自らの人生を舵取る力を身につけることが重要となってまいります。

比布中央学校が義務教育学校になって5年目を迎えます。学校は、9年間の連続性・系統性を踏まえた一貫性のある教育活動を展開し、子どもたちは確実に成長してきております。

私は、これからも比布町の発展や子どもたちの成長をずっと身守り続けてまいります。

終わりに、改めて皆様には、特段のご指導とご鞭撻を賜りましたことに、心から感謝とお礼を申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



就任のごあいさつ
三浦 一路

この度、4月1日付で教育長に就任いたしました。義務教育学校開校など大きな実績を上げてこられた北川教育長の後を受けするのは、大きな重圧ですが、大好きな町、ご恩のある比布町のお役に立てることは、大きな喜びでもあります。

3月までは、北海道教育庁上川教育局義務教育指導監という立場でしたが、それ以前は33年間学校教育の現場において、子どもたちの成長を支え、見守ってまいりました。平成19年まで当時の中央小学校に6年間在籍し、住民としても比布町に24年間住んでおります。その間2人の子どもを比布町で育てていただき、おかげさまで2人とも比布が大好きな大人に成長いたしました。

私自身、はなはだ微力ではございますが、すべての町民の皆様の生涯にわたる学びを支えるとともに、教育の力を通じて、比布をさらに前へ、充実・発展させられるよう、これまでの経験、これからの学びを生かし、世界一大雪山がきれいに見える町で、子どもたち、教職員にとって世界一幸せな学校を全力でつくり上げてまいります。

町民の皆様から今後も一つずつ学ばせていただきます。どうぞよろしく願い申し上げます。

記念式典を開催*記念誌も発行

祝・比布町文化連盟創立50周年



比布町文化連盟の創立50周年記念式典・祝賀会が農村環境改善センター多目的ホールで挙行され、会員と来賓、合わせて46人が出席しました。長年にわたり本町の文化振興と交流を支えてきた文化連盟。高野正行会長は「文化を愛する思いを次の世代へつないでいきたい」と力強く挨拶しました。

式典では、連盟発展の功労者として、30周年以降に役員を10年以上務めた5人に感謝状が贈られました。受賞者を代表して佐藤則一さんは、「民謡活動を通じて得た多くの出会いと経験は、私の宝物です」と謝辞を述べました。

その後、来賓を代表して村中町長が祝辞を述べ、北川教育長の発声で祝杯。地域文化のさらなる発展を願う節目の式典・祝宴となりました。

感謝状受賞者 合田正徳さん・湊谷興二さん・佐藤則一さん・谷越秀子さん・斉藤しづいさん

募集

手話奉仕員・手話通訳者・要約筆記者養成講座のお知らせ

▼初級手話講座

日時 5月19日(火)～12月8日(火)の原則火曜日(全25回)

[昼の部] 午前10時～11時30分

[夜の部] 午後7時～8時30分

対象者 初めて手話を学ぶ義務教育を修了した方

テキスト代 4,290円

▼中級手話講座

日時 5月20日(水)～12月16日(水)の原則水曜日(全27回)

[昼の部] 午前10時～11時30分

[夜の部] 午後7時～8時30分

対象者 初級手話講座を修了した方

テキスト代 4,290円 ※初級の

テキストがある方は不要

▼手話通訳者養成講座Ⅰ

日時 5月28日(木)から令和9年3月18日(木)の原則木曜日(全37回)

午後7時～8時30分

協会けんぽ北海道支部からのお知らせ

▼令和8年度保険料率改定について

令和8年3月分(4月納付分)から健康保険料率は10.28%(マイナス0.03%ポイント)、介護保険料率は1.62%(プラス0.03%)となります。

また、令和8年4月分(5月納付分)から始まる子ども・子育て支援金率は0.23%となります。

ご自身の健康づくりや医療のわかり方が将来的な北海道の医療費上昇、保険料率の伸びを抑えることにもつながりますので、ご協力をお願いします。

問い合わせ先

全国健康保険協会(協会けんぽ)北海道支部 ☎011-762-0352

対象者 中級手話講座を修了した方で本講座を修了していない方

テキスト代 5,060円

※受講前に面接試験有。また、来年度に同講座Ⅱの受講が必要。

▼要約筆記者養成講座

日時 5月22日(金)～10月30日(金)の火・金曜日(全43回) 午前10時～正午

対象者 要約筆記者養成講座を修了していない方

テキスト代 4,500円

▼共通事項

場所 旭川市障害者福祉センター「おびった」

申込締切 4月22日(水)

※定員を超えると抽選となります。

申し込み・問い合わせ先

役場保健福祉課 社会福祉室 福祉係

生活・仕事巡回相談会

かみかわ生活あんしんセンターでは、仕事やお金、家族、人間関係など、暮らしに関する悩みごと、困りごとについての相談を受け付けています。事前予約制です。

相談日 4月16日(木)

時間 ①午後1時～1時50分

②午後2時～2時50分

場所 福祉会館第4研修室

定員 ①②各1人

申込方法 相談日前日の午後3時までに電話、FAX、メールで申込

相談料 無料

申し込み・問い合わせ先

かみかわ生活あんしんセンター ☎38-8800 FAX 33-0021

✉ anshin@kamikawa19.hokkaido.jp

きたよん相談会のご案内

障がいのある方や不安を抱えている方、自分のこと、家族のことなど、きたよんの相談員が対応します。4町内(当麻町・比布町・愛別町・上川町)にお住まいの方、ご家族、関係機関の方がご利用できます。予約は必要ありません。当日会場にお越しください。

日時 4月28日(火)午後1時30分～3時30分

会場 福祉会館

問い合わせ先

上川中部基幹相談支援センター

☎84-7111

✉ kitayon@potato.ne.jp

募集

後期高齢者医療制度
運営協議会委員の募集

北海道後期高齢者医療広域連合では、住民の皆さんの代表として、制度の運営に関する重要事項を審議していただく運営協議会委員を募集しています。

応募資格 道内在住の満18歳以上の方(ただし、国会議員・地方議会議員や公務員などを除く)

任期 令和8年7月から2年間(年2回開催予定)

応募方法 北海道後期高齢者医療広域連合および市区町村窓口にある応募要領を参照してください。

応募締切 4月30日(木)

選考 選考委員会を設置し、提出された小論文等により総合的に委員を選考します。

報酬 1日につき5,000円の報酬と旅費を支給します。

問い合わせ先

北海道後期高齢者医療広域連合 ☎011-290-5601



町長行政一般報告

職員の処分について

令和7年12月30日付けで、40代職員を停職3か月懲戒処分としました。当該職員は、令和元年度から3年度までの間、百歳を迎えた8名に対し内閣総理大臣から贈られるお祝い状と記念品、民生委員を退任された5名に対し厚生労働大臣および北海道知事から贈られる感謝状の交付を怠り、さらに、交付を行ったものとして国や北海道に

虚偽の報告を行い、不適切な処理が発覚しないよう隠ぺいを行ったものです。また、公営企業会計における消費税申告事務においても、適切な事務処理を行っていませんでした。

なお、お祝い状および感謝状については、既に亡くなった方もいましたので、「ご本人、または、ご遺族の方へ持参し、お詫びと説明をしました。」

当該職員は以前にも、上下水道使用料の事務処理において不適切な処理があり、令和7年9月30日付けで停職1か月の懲戒処分を行い、降任辞令を発令していましたが、処分期間中に本件が発覚したことから、調査を行った結果、今回の事実が確認され、加重処分としました。

このことは、いずれも行政の信頼を著しく失墜させる行為であり、改めて再発防止に向けたチェック体制の強化を行います。ご迷惑をおかけした皆さんに、改めて深くお詫び申し上げます。

諸工事の発注および進捗状況

令和7年度諸工事の発注状況は、別表(次ページ)をご覧ください。

観光施設の利用状況

ぴっぷろスキー場について、今シーズンは前年と同日の12月13日から一部のコースで営業を開始し、ナイター営業は1月1日から開始しました。

2月末現在のリフト収入は7,775万8千円で、前年同期に比べて733万円少ない91・4%となっています。

今シーズンは12月の暖気と雨により、大変厳しいスタートになりました。

特徴的な傾向として、外国人旅行者が昨シーズンを大きく上回るペースで来場され、2月末現在で、前年同期に比べ、約155%の

来場となりました。そのため、リフト収入はシーズン当初の遅れを取り戻している状況となり、来場者数は昨シーズンと同水準で推移しています。

今シーズンは3月22日までの営業予定ですが、残る期間においても、従業員やスキー場エリア内関係者との連携を図りながら、お客様の安全を第一に考え、多くの方々にご利用いただけるよう努めます。

良佳プラザ・遊湯ぴっぷろの利用状況について、2月末現在の総入館者数は90,385人で、前年同期に比べ11、192人少ない89%と管理者から報告を受けています。

観光需要の回復により、今年度の施設利用者数は概ね10万人と見込んでおり、スキー場オープン以降は、入浴・宿泊ともにスキー客の利用も多いことから、施設の相互利用が十分に図られているものと考えています。日帰り宴会についても増加傾向で、さらなる営業努力

行政報告

第1回町議会定例会

第1回町議会定例会が令和8年3月9日に招集され、町長および教育長から行政一般報告がされました。概要をお知らせします。

トテニス大会に出場します。

旭川レスリングクラブ所属の8年生・寒河江河六さんは、3月21日から東京都で開催される「JOCジュニアオリンピックカップ2026U15全日本レスリング選手権大会」のフリースタイル62kg級に出場します。

比布町剣道スポーツ少年団所属の6年生・中野紗和さんと5年生の青木理音さん・上田星さん・佐藤日咲さんは、3月29日から茨城県で開催される「第67回全国選抜少年剣道錬成大会」に旭川剣道連盟選抜チームのメンバーとして出場します。

これから全国大会に出場される皆さんには、北海道の代表として、比布町の代表として、自分の力を存分に発揮し、堂々と試合に臨んでほしいと思います。

◎町から提案した主な議案
○令和8年度一般会計予算について

他28件

を管理者と共に進めます。4月から指定管理が第5期目となります。昨今のエネルギー価格や物価の高騰をはじめ、施設の老朽化に伴う基幹設備の修繕・更新など、維持管理経費の増加が課題となっていることから、施設のあり方についてしっかりと検討します。

教育行政一般報告

主な教育活動について

1月20日、9年生の家庭科の授業の一環として、くるみ保育園を訪問し、各グループに分かれ幼児と制作活動や外遊び、乳幼児の保育のお手伝いなど、貴重な体験をしました。

1月21日、君の夢プロジェクト「心に響く道徳講話」を開催し、プロバスケットボールチーム・レバンガ北海道の折茂武彦社長が「夢を叶えるために」というテーマで後期課程生徒に講話いただきました。生徒の皆さんにとって、自分の将来について考えるとても良い機会となりました。

子ども議会開催

2月27日、比布中央学校6年生が自分たちの考えたまちづくりを町議会議員にプレゼンする「子ども議会」が行われました。

6年生は5つのグループに分かれ、「比布町の未来づくり」と題して元気よく提案してくれました。

- 提案のあったアイデア
- ・スキー場の活用
- ・新しい特産品の販売
- ・特設の特産品売り場の設置
- ・オリジナルグッズの販売
- ・子ども支援・子育て支援

別表 諸工事の発注状況 (令和7年11月25日~令和8年1月9日)
(単位:円)

工事名および工事の内容	請負業者	請負金額
蘭留北10線橋護岸布設替工事 護岸改修 1箇所	(株)新見産業	682,000



子どもたちの活躍

旭川東高校1年生の勝負光太さんは、2月4日から長野県で開催された「第75回全国高等学校スキー大

令和8年度4月、比布中央学校は27人の新1年生が入学し、全校児童生徒数は216人となる予定です。また、総学級数は19学級で、うち10学級が特別支援学級の予定です。

児童生徒数および学級編制

令和8年度4月、比布中央学校は27人の新1年生が入学し、全校児童生徒数は216人となる予定です。

卒業予定者の状況

令和7年度の卒業予定者は26人で、全員が高校進学を希望しています。既に合格並びに推薦・内定を受けている生徒もいますが、3月17日には合格発表があります。全員が志望校に入学できることを願っています。

3月12日には「第4回卒業証書授与式」が行われます。4月から新しい世界に飛び立つ9年生の皆さんの祝福を願います。

まちある記・フォトニュース

まちの話題や情報など、身近なニュースをまち発信係にお知らせください。

本紙上で紹介できなかった行事や写真は、Facebookページ「まちある記・フォトニュース」に掲載しています。



2.28

複合庁舎建設 第1回住民説明会

「複合庁舎建設 第1回住民説明会」が農村環境改善センターで開催。建設計画の概要や配置案などを説明し、意見や質問に対し村中町長が答えました。今後も開催予定です。



2.16

「アイガモ米」を子どもたちと一緒に

「アイガモロボ」を使い育てられたお米・ゆめぴりかが学校給食に登場。生産者の今野勝貴さん・雅広さん(4区)も来校し、児童に感想を聞きながら給食を楽しみました。

町職員の新規採用・退職

よろしくお願ひします

●新規採用職員(4月1日付)



しまだ たいし
主事 島田 大志
建設課
整備室
上下水道係



ごとう さき
主事 後藤 早紀
総務企画課
総務室
総務係



すいどう かなう
主事 水道 叶
保健福祉課
社会福祉室
こども未来係



ながた こうき
主事 永田 巨輝
保健福祉課
社会福祉室
国保医療係



さいとう ゆめ
保健師 齊藤 結芽
保健福祉課
健康推進室
健康推進係



みやの こうき
主事 宮野 侅気
教育委員会 教育課
学校教育支援室
学校教育係



やまがた まさあき
係 山縣 正明
大雪消防組合
比布消防署
警防係

お世話になりました

●退職職員(3月31日付)

北川 範之(比布町教育長)
石澤 聡美(保健福祉課 社会福祉室 国保医療係 主査)
川原 奈央美(総務企画課 総務室 総務係 主任)
佐藤 新悟(商工観光課 商工観光振興室 経済活性化係 主事)

人事異動(4月1日付)については、今月号に行政機構図を折り込んでいますのでご覧ください。

各団体や大会主催者様から提供いただいた、スポーツや文化活動などの話題を紹介いたします。皆さんからの情報をお待ちしています。

○内の数字は順位(敬称略)。町内関係者のみ掲載

パークゴルフ

◆3月室内PG大会

(3月10日・いちごアリーナ)

①手代木修一②五十嵐義秋③佐藤充代

◆3月大雪山フラワーパークPG大会

(3月12日・大雪山フラワーパーク)

①手代木修一②内沢義治③水内順子

バドミントン

◆町民バドミントン大会

(3月15日・町体育館)



【ダブルス】▷前半戦①内沢義治・有岡修治②有岡晴美▷後半戦①奥野聖奈・有岡修治②内沢栄代子③有岡晴美

卓球

◆町民ダブルス大会

(3月15日・町体育館)



①大月陽翔・笠羽幸斗②大月裕貴・松澤湊都③高橋歩叶・野内海成

バレーボール

◆旭川市民体育大会

(3月8日・町体育館)

【9人制男子】②ぴっぷ紙風船(工藤昌裕・齋藤雅幸)

スキー

◆町民スキー大会

(3月20日・ぴっぷスキー場)



【大回転・スノースクート】①村上博昭②福地正嗣③浅野仁志

【大回転・スキー】▷幼児①滝沢采花②石山暁都▷1~3年生①定岡岳②久保田和匠③藤原俊太郎▷4~6年生女子①滝沢心菜▷7~9年生男子①上道敬翔▷一般女子A④馬淵優花▷一般女子B①上道ともみ②滝沢麻未③定岡園恵▷一般男子A①藤原俊彦②松澤湊都③野内海成▷一般男子B①定岡伸之②廣瀬幸寛③石山琢也▷一般男子C①福嶋頭勝②宮武秀夫

【大回転競技・スノーボード】▷7~9年生男子①野内陸来▷一般男子①野内武②福地正嗣③土屋秀和

【ペアスキー競技】①上道敬翔・上道ともみ②福嶋頭勝・宮武秀夫③定岡岳・松嶋晋太郎



みんながヒーロー&ヒロイン

3月22日現在

ソフトテニス

◆ウインターカップ全道選抜中学生団体研修大会

(3月7~8日・妹背牛町)

【団体】▷女子③比布中央(勝見萌衣・勝見友音・菅原聖夢・田沼祥乃)

◆オホーツクソフトテニス少年団新進大会(3月8日・美幌町)



【ダブルス】▷5・6年生男子③米澤英汰・勝見悠真▷5・6年生女子②大泉花実・稲場絢凪

剣道

◆比布町剣道スポーツ少年団記念大会(3月22日・比布中央学校武道場)



【団体】①紅(木村葵葉・木村向葵・中澤好美・加藤那由多・高橋龍心・夏井あんな・廣瀬衣麻・成田奏・上田星・上田稟・夏井みいな・畠山仁)

【個人】▷1~3年生①森谷凌輔②木村向葵③加藤那由多▷4・5年生①上田星②青木理音▷6~9年生①堺彪真②久保田琉③中野紗和

比布町公式 SNS

まちの情報を
もっと知りたい
あなたに！



LINE

町からのお知らせや、防災情報をお届け。



X

日々の出来事から、防災情報まで色々発信中。



facebook

町内の話題や、防災情報を随時お知らせ。



Instagram

比布町の「映える」風景や町の様子を投稿。

まちの人口

2月末現在（前月比）

総数 3,307人（-1）
男性 1,566人（±0）
女性 1,741人（-1）
世帯数 1,719世帯（+2）



戸籍のまど

（3月15日までの届出）

お悔やみ申し上げます

（氏名・享年・行政区）

戸野塚 智恵子さん 96歳（西町）
井上 ヨシエさん 92歳（南町）

誕生おめでとう

（あかちゃん・行政区・保護者）

成田 ^{はるか} 遙ちゃん（緑町）
佑也さん・実穂さん

※了承をいただいた方のみ掲載しています。

住民関係届出は 期限内に届出しましょう

14日以内

- 転入届
（他市町村から住所を移したとき）
- 転居届
（町内で住所を変えたとき）
- 出生届
（子どもが生まれたとき）

あらかじめ

- 転出届
（他市町村へ住所を移すとき）

※印鑑証明書の発行が必要な場合は、必ず印鑑登録証をご持参ください。

4月の行事予定

- 6(月) 春の交通安全街頭巡回 ～15日
7:30 町内一円
- 7(火) 比布中央学校入学式・進級式
10:00 同校
- 17(金) 狂犬病予防注射 ～18日 16ページ
9:00 町内各所
- 18(土) ぴぴの路遊歩道整備作業 21ページ
9:00 ぴぴの路村上山公園側入口集合
- 28(火) 白寿大学始業式
10:00 福祉会館（大講堂）
- 第34回農業委員会総会
13:30 役場（議場）
- 29(水) 春の突哨山散策ツアー 22ページ
9:00 突哨山ぴぴの路



図書館の休館日▶23ページ こどものひろばのカレンダー▶27ページ

※変更になる場合がありますので、無線放送・LINEなどにご留意ください。

5月号は5月7日発行予定です